

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	1	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI（指標）	Ⅰ 新規就農者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	前期計画の目標値を継承し、毎年７人の新規就農者数の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	26 人	33 人	40 人	47 人	54 人
実績値	18 人	19 人	19 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（Ｒ５年度）	47.5%
取組の内容と達成状況	複数の就農相談があり、JA や振興局と連携し、各種支援について説明を行ったが令和５年度中の新規就農には繋がらず目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	新規就農にはつながらなかったものの就農相談は継続しており、今後、４名の新規就農を予定している。経営継承のみではなく U ターン就農や新規参入も含め、情報発信と新規就農の情報収集が必要である。		
今後の方向性（取組）	JA や振興局等と連携した経営継承、U ターン就農及び新規参入等の新規就農を総合的に支援するため北秋田地域就農定着チームによる円滑な就農定着に結びつける。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	2	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI（指標）	Ⅱ 地元雇用及び正規雇用者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	地元雇用の安定を図るため、雇用促進交付金等の制度活用について、前期計画と同様に年間６人を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	90 人	96 人	102 人	108 人	114 人
実績値	97 人	109 人	120 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	117.6%
取組の内容と達成状況	毎年、県やハローワーク等と連携し開催している地元企業によるお仕事博覧会（中学生対象）及び、地元高校生への企業説明会を開催し、地元企業への関心を深めることで将来の就職先としての認知度を上げ地元雇用対策に繋がっていることから、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	企業や事業者に対し、市民雇用を条件とした雇用奨励金交付制度等を実施することで、雇用意欲の向上を図っている。		
今後の方向性（取組）	北秋田地域振興局や県労働政策課、ハローワークと連携し、お仕事博覧会、企業説明会及びお盆と年末に実施する就職相談会に参加する地元企業を増やししながら、また、産業祭で地元企業に出展を促し市民へ認知して頂きながら地元企業の魅力紹介など内容の充実を図る。また奨励金交付制度の活用について周知を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	3	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	1 担い手への農地集積率【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状が高い集積率となっていることから、農地面積の減少も加味し毎年0.5%の集積率増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.3%	82.8%	83.3%	83.8%	84.3%
実績値	83.3%	80.5%	76.9%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	92.3%
取組の内容と達成状況	農地中間管理機構を活用し、担い手に農地集積・集約が円滑に進むよう取組み、概ね目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	集落営農組織の解散、担い手の離農が要因により集積率が減少しているが、概ね目標としている集積が進んでいる。		
今後の方向性(取組)	地域計画策定による地域内での話し合いの中で、農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化が進むよう取組を継続していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	4	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	3 主な園芸作物販売額(主要6品目)【累計】				
KPI(指標)の考え方	振興作物のうち、主要6品目での販売額を毎年30百万円増加させることを目標とした ※主要6品目:きゅうり、やまのいも、ねぎ、えだまめ、キャベツ、にんにく				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	376百万円	406百万円	436百万円	466百万円	496百万円
実績値	259百万円	212百万円	213百万円	—	—

※「KPI(指標)」「KPI(指標)の考え方」「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	48.9%
取組の内容と達成状況	青果物の生産面積維持・拡大や品質向上のための支援や推進プロジェクトチーム、単収向上推進会議による圃場での実証等による検証を行ったものの、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	令和5年7月豪雨災害や猛暑による影響で、前年比で販売数量及び販売額ともに数値が下がる結果となった。		
今後の方向性(取組)	青果物や生産資材への支援による農家負担の軽減を図り、推進プロジェクトチームや単収向上推進会議による実証並びに検証により、高品質な青果物の生産による販売数量・販売額の増加を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	5	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI（指標）	4 比内地鶏飼養羽数【累計】				
KPI（指標）の考え方	現存する加工施設における処理能力羽数の 50.0%を目標値として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	95,800 羽	96,850 羽	97,900 羽	98,950 羽	100,000 羽
実績値	73,240 羽	64,920 羽	60,575 羽	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	61.9%
取組の内容と達成状況	比内地鶏の素雛導入支援や家さんの伝染病発生予防の支援を行い農家負担の軽減を図ったが、目標の達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	比内地鶏に対する支援については継続的に実施するが、飼養農家の減少もあり、飼養羽数の減少につながっている。農家の高齢化による離農もあるため、経営継承や新規飼養農家の育成について取り組みを進める必要がある。		
今後の方向性（取組）	今後も比内地鶏の素雛導入支援を行い飼養農家の負担軽減を図っていく。また、比内地鶏ブランド認証推進協議会のマーケティング調査を受けて生産性の向上や消費者ニーズに対応した品質の平準化による需要拡大を進めていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	6	種別	総合戦略	担当部署	農林課森林環境係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI（指標）	1 林業就業者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	新卒者、転職者、退職減を含む就業者数のトータルで年間３人の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	178 人	181 人	184 人	187 人	190 人
実績値	173 人	176 人	174 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（Ｒ５年度）	94.6%
取組の内容と達成状況	関係部局との連携した就業支援や、林業大学校入校者への支援を通じ新たな就業者が１５人であったものの、退職者が１７人となり目標値の３人に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	今後も定年による退職者が増えていくことが予測されるため、引き続き継続的な取組みを行い、若年層の雇用に努めることが必要となる。		
今後の方向性（取組）	就業対策として、支援事業の拡充を目指す（例として、労働環境改善への支援等）とともに、移住定住担当と連携し、首都圏での林学履修者や林業に関心のある人材の掘り起こし、林業大学校進学者への支援の継続のほか、木育教育実施による山林への関心を高め雇用に繋げられるよう必要な施策の実施を見込む。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	7	種別	総合戦略	担当部署	農林課森林環境係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI（指標）	2 造林面積（新植を除く）【累計】				
KPI（指標）の考え方	年間 400ha の造林事業（下刈り・除伐・間伐・皆伐等）の実施を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	1,178ha	1,578ha	1,978ha	2,378ha	2,778ha
実績値	1,082ha	1,564ha	1,934ha	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	97.8%
取組の内容と達成状況	秋田県造林補助事業等を活用しながら、市においても嵩上げ補助等を行い施業について支援を実施した。概ね森林経営計画どおりに実施されていたものの、前年度以下の造林面積となり、目標値に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	嵩上げ補助実績数量が年々増加しており、造林の取り組みは増加している。今後は間伐等に加え伐期を迎えた森林の皆伐施業が増えており、事業の増に伴い、嵩上げ補助の増額対応の実施が必要となる。		
今後の方向性（取組）	R5 年度より、大型製材工場における稼働が開始されたため、今まで以上の木材需要の増が見込まれることから、今後必要な施策の実施を見込む。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	8	種別	総合戦略	担当部署	農林課森林環境係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI（指標）	3 再造林面積（新植）				
KPI（指標）の考え方	年間伐採面積の 1/3 の再造林を目標とした。（再造林面積/皆伐面積）				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%
実績値	15.7%	11.6%	32.7%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	99.1%
取組の内容と達成状況	再造林に対する国、県の補助事業に加え、市の嵩上げ補助による支援を実施したが、目標に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	新植等に対する嵩上げ補助を実施しているものの、山林所有者の高齢化、後継者の流出に伴い、再造林の事業量増につながっていない。		
今後の方向性（取組）	R5 年度より民有林補助金要綱を改正し、山林所有者の負担軽減を目的に、新植、下刈、枝打ち等の部分に係る嵩上率の向上を図っている。前年度より大きく再造林面積が増加していることから、継続した支援を実施して行く。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	9	種別	総合戦略	担当部署	農林課農山村保全係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	4 路網延長(林道及び林業専用道等)【累計】				
KPI(指標)の考え方	路網延長年間2.5km増を目標とした。R1(313.7km/40,052ha)→R7(328.7km/40,052ha)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.96m/ha	8.02m/ha	8.08m/ha	8.14m/ha	8.21m/ha
実績値	8.18m/ha	8.32m/ha	8.44m/ha	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	104.5%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携し、国、県の補助を活用した林道事業に加え、市の嵩上げ補助による森林作業道整備の支援を行い目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	関係機関と連携しながら、現在、市では7路線の林道整備を実施しており、それに加え、森林作業道への嵩上げ補助を実施し、順調に路網整備が図られている。課題として、林道整備の要望が増加しており、経営計画等を勘案しながら効果的な整備が必要となってくる。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携しながら、経営計画等を勘案し、優先順位を付しながら効果的な路網整備を実施して行く。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	10	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI（指標）	1 起業・創業者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	起業・出店による地域の賑わいづくりや、若者世代の呼び込みによる活性化を図るため、毎年１事業者の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	６人	７人	８人	９人	１０人
実績値	７人	７人	７人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	87.5%
取組の内容と達成状況	新規に創業する企業者に対し県の補助金に上乘せする形で支援している。当該補助金を活用して新たに企業創業する申請者はいなかったが、市内の空き店舗対策として４事業者が事業を始め、地域の賑わい並びに地域経済の活性化に繋がっていることから概ね順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	申請時に金融機関や商工会等の指導を受けた事業計画の提出を条件にしていることから、長期的な安定経営が図られており、地域経済の活性化に寄与している。		
今後の方向性（取組）	店舗が開業することにより地域の活性化が図られていることから、事業継続のため開店後のフォローアップを必要に応じて実施し支援していく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	11	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	2 新規出店者数(賑わい再生支援事業)【累計】				
KPI(指標)の考え方	空き店舗利活用支援(家賃補助等)により年間1件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4件	5件	6件	7件	8件
実績値	9件	19件	23件	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	383.3%
取組の内容と達成状況	市街地賑わい再生支援事業は、空き店舗等を活用した新規事業者への家賃補助(1/2:4万円上限:2年間)を支援することで、地域賑わい再生や地域経済活性化を推進する事業として実施しており、令和5年度においては4事業者が事業を開始したことから、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	近年、起業する若者が増えていることから、その需要を取り入れ支援することで、地域の賑わいと経済活性化の両立を推進する。継業バンクとの親和性を高めながら商工会と連携しきめ細かいフォローアップを実施し経営安定を促す。		
今後の方向性(取組)	空き店舗等の調査業務の結果をもとに必要な支援策の検討を行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	12	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI（指標）	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】				
KPI（指標）の考え方	魅力ある特産品の創出に向けて、年間２件の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	98 件	100 件	102 件	104 件	106 件
実績値	98 件	98 件	100 件	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	98.0%
取組の内容と達成状況	北秋田市の特産品の推奨認定を行うことにより、特産品の需要拡大及び品質向上を図る。商工会を通じた商品開発などと組み合わせながら進めることで、今後も順調に推移していくと思われる。		
取組の評価・分析・課題	推奨認定を受けた特産品を掲載している「北秋田市のおすすめ品」を冊子の「ふるさとセレクション」としてリニューアルしたことで、様々なイベントで配布し需要を生み出している。		
今後の方向性（取組）	推奨認定を受けた特産品のパッケージや商品の改良などを行う際に、より選んでもらえるような商品にリニューアルする支援を構築する。また、企業活性化センターの知財デザイン講座を含めた専門職員とのつながりを持つとともに県アンテナショップでのテスト販売など幅広くに事業者支援を行っていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	13	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	4 アンテナショップの取扱い商品数				
KPI(指標)の考え方	北秋田市のイメージPR、情報発信力のある産品づくり支援及び販路拡大への取組推進を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	160 商品	160 商品	160 商品	160 商品	160 商品
実績値	111 商品	33 商品	0 商品	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	E: その他	進捗・達成率(R5年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	R6の開設に向けて協議中。		
取組の評価・分析・課題			
今後の方向性(取組)	現在、国立市及び国立市まちづくり観光協会とアンテナショップの開設に向け協議を行っているところである。また、国立市内で回遊性を持たせた北秋田市産品の販売を提案していることから、先方の意見を踏まえながら進めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	14	種別	総合戦略	担当部署	観光課森吉山推進室
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI（指標）	1 森吉山県立自然公園入込数（延べ人数）				
KPI（指標）の考え方	阿仁スキー場のほかに、森吉山全体と県立自然公園の魅力発信に向けて、1.5%増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	62,000 人	62,000 人	62,000 人	62,000 人	62,000 人
実績値	56,690 人	56,583 人	50,696 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	81.8%
取組の内容と達成状況	森吉山国立・国定公園化の実現を目指すキックオフシンポジウム、イベントを開催し、優れた自然環境を広く発信した。また森吉山登山マップを改訂し利用者の利便性向上と、観光誘客を図った。前年度比では入込数は減少したものの、新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなりつつある。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症が５類移行後、全体の観光客数は増加傾向にあったが、夏の大雨と、秋以降県内で相次いだクマ被害の影響で自然公園関連施設の入込が減少傾向となった。冬季の樹氷シーズンはインバウンド含め観光客が前年度比増加。今後はインフラの安全運航や維持管理の他に、インバウンド客への対応強化、２次アクセスの環境整備、滞在型観光を推進するにあたり宿泊環境の改善等が課題。		
今後の方向性（取組）	貴重な自然環境の保護に配慮しながら、様々な自然体験を提供する持続可能なツーリズムを展開し、四季を通じた観光誘客を実現するため、各関連団体との連携体制の強化を図る。また、トップセールスの強化や内陸線・DMO と連携したインバウンド客の取り込みと、(株)モンベルとの連携により、森吉エリアでのアウトドアアクティビティの展開を強化し、滞在型観光の推進を目指す。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	15	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	2 歴史文化施設・祭り入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	市ならではの歴史文化・祭り等を市内外の方の見学・体験につなげるよう、7.9%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人
実績値	30,824人	40,604人	36,759人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	90.1%
取組の内容と達成状況	伊勢堂岱遺跡のVR事業や、コロナにより縮小開催していた行事が通常開催となるなど、誘客につながる要素はあり、徐々にコロナ前の水準に戻りつつある。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナが5類へ移行となり、縮小開催していた行事などが通常開催となった一方、夏・秋シーズンの豪雨災害や秋以降のクマ被害の風評により観光客の戻りが鈍化傾向となった。今後は引き続き各行事や施設に関する情報発信を行うとともに、展示施設では見せ方の工夫や、体験型コンテンツとの組み合わせによる誘客、ガイド育成などが課題。		
今後の方向性(取組)	歴史文化といった北秋田市ならではの背景や特性について積極的な情報発信や「ジャパンエコトラック」の設置などを実施し、その魅力を伝えるガイドの育成体制を構築するとともに、各観光コンテンツにおいて利用者、観光客の体験価値向上を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	16	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI（指標）	3 北秋田市宿泊施設売上推計額（推定単価×宿泊者数）				
KPI（指標）の考え方	限られた宿泊許容量の中で滞留促進とサービス向上につなげるよう、1.3%の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	465 百万円	465 百万円	465 百万円	465 百万円	465 百万円
実績値	387 百万円	409 百万円	405 百万円	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	87.1%
取組の内容と達成状況	市内宿泊施設を対象に電気料金高騰対策事業として補助金を交付し、安定的な宿泊環境の整備を図った。また、観光需要が減少する冬期間の誘客を促進するため、宿泊者に対し地域限定クーポンを配布することにより宿泊者数の向上を図った。		
取組の評価・分析・課題	他の観光施設と同様、昨年５月の新型コロナの５類移行後、夏までは入込が増加傾向だったが、７月の大雨や秋のクマ被害報道等により夏以降の宿泊数が前年度比で減少した。一部の宿泊事業者には、高齢化により運営が困難になりつつある施設もあり、今後事業承継等による安定的な事業運営も課題。		
今後の方向性（取組）	滞在型観光を推進するにあたり、北秋田市特有の自然、文化、食の強みを活かしたプランを提供し、インバウンド客への対応強化を含め、多様化する宿泊客のニーズにこたえられる体制を構築する。宿泊客数の増加とともに客単価を上げる取り組みを推進し、各事業者と連携を強化することで、北秋田市の宿泊環境の向上を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	17	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	4 訪日外国人宿泊客数(延べ宿泊者数)				
KPI(指標)の考え方	広域連携によるインバウンド等の誘客と滞在型観光により、219.9%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3,100人	3,100人	3,100人	3,100人	3,100人
実績値	10人	359人	971人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	31.3%
取組の内容と達成状況	特に冬季の樹氷シーズンにおいて、阿仁エリアでの外国人宿泊者数が増加し、目標値にはまだ届かないものの、年間では前年度比約2.7倍の外国人宿泊者数となった。阿仁スキー場のHPをリニューアルし、多言語対応化により外国人向けの情報発信を強化した。		
取組の評価・分析・課題	樹氷観賞等を目的とした阿仁スキー場への入込が伸びたことにより高津森ペンション団地への宿泊者数が増加したが、個人客が大半であり、今後は台湾等アジアを中心としたインバウンド団体客の受入可能な環境整備が課題。		
今後の方向性(取組)	トップセールスの強化をはじめ、内陸線・DMOと連携した情報発信に努め、インバウンド対応をさらに強化する。阿仁スキー場に関しては、樹氷観賞をメインとした対アジア圏への誘客とともに、上質な雪質をPRすることでスキーを目的とした欧米客の誘客も進められるよう、宿泊事業者との連携を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	18	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI（指標）	5 道の駅等売上推計額（推定単価×利用者数）				
KPI（指標）の考え方	交流人口と消費動向を推計する指標（3.5%増加：405,000人×@720）とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	292 百万円	292 百万円	292 百万円	292 百万円	292 百万円
実績値	141 百万円	247 百万円	233 百万円	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	79.8%
取組の内容と達成状況	5月の新型コロナウイルス感染症５類移行後、観光客が戻りつつあるが、コロナ前までの水準には至っていない状況。売上額も前年と同水準となった。		
取組の評価・分析・課題	入込客数、売上額ともに前年とほぼ横ばい状態となったが、要因としては夏の大雨やクマ被害報道等による、森吉以南での入込客数、売上の伸びが鈍かった。団体客が戻りつつある中で、冬季の集客と、産直が引き続き課題であり、魅力ある商品のPR強化が必要。		
今後の方向性（取組）	北秋田エリア観光の起点としての機能をもたせ、多彩なアウトドアアクティビティの提供や、この地域ならではの特産品のPRを行うことにより客単価、売上額の向上、交流人口の拡大を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	19	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI（指標）	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数				
KPI（指標）の考え方	求職者の就業支援及び事業所における雇用の安定を以って市内への定住を促進することを目標とした。（年１人の増加として現状を維持）				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	48 人	49 人	50 人	51 人	52 人
実績値	48 人	52 人	54 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	108.0%
取組の内容と達成状況	ホームページや広報紙のほか、企業訪問時にも制度の周知を行い、幅広く市内の企業及び求職者への支援ができていることから目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	市内企業については雇用維持や事業拡大を目的に活用されており、求職者については当該制度活用により就業に結びついている。令和４年度に事業所の申請上限を人数要件から金額要件に変更及び求職者の申請上限を対象資格１資格のみから、上限金額１０万円に達するまで複数の免許や資格の取得に向けた申請を可能したことから、年々申請件数が増加している。		
今後の方向性（取組）	引き続き地元企業の声に耳を傾け、また、求職者や移住・定住者に対し更なる周知を図り、制度を活用した資格取得によるスキルアップが地元就業へ繋がるよう支援する。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	20	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】				
KPI(指標)の考え方	市内工場等への設備投資について、前期では年1件としたが2年間で1件を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5件	5件	6件	6件	7件
実績値	7件	8件	10件	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	166.7%
取組の内容と達成状況	毎年、定期的な企業訪問による情報収集や首都圏企業懇談会など意見交換の場を作り、増設と設備投資を促すため各助成事業等の紹介を行い産業の活性化を図っている。資材高騰や物価高騰が続く中で、受注拡大に向けた増設案件が2件あるなど目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	コロナ禍で受注量の減少により将来的投資を控える企業が多くあったが、徐々に回復の兆しが見られた一方で、資材高騰や物価高騰が続く中、受注拡大に向けた増設案件があり、雇用の確保にも繋げることができた。		
今後の方向性(取組)	引き続き、情報収集などきめ細かいフォローアップと懇談会を通じて各種助成事業等制度の周知を図ることで事業拡大に繋がるよう支援する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	21	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略１ 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI（指標）	4 新規進出事業所数【累計】				
KPI（指標）の考え方	前期計画における実績が３事業所であったことを踏まえ、同程度の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	４事業所	４事業所	５事業所	５事業所	６事業所
実績値	４事業所	５事業所	５事業所	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	100.0%
取組の内容と達成状況	コロナ禍やBCPの観点から地方進出を検討する企業が増えつつあるため、秋田県企業誘致推進協議会主催のリッチセミナーや東海、関西地区企業懇談会などへ誘致折衝している企業をお迎えするなど着実にゲスト数は増えている。また、企業誘致の広告掲載も継続して実施することで問合せ件数が増えている。		
取組の評価・分析・課題	誘致折衝を積み重ねてきた企業の進出角度の高まりや実証事業などの誘致によりサテライトオフィスの開設意向など着実に成果が見られる一方で、市内貸しオフィス等の老朽度合いなど、迎え入れる側としての下地ができていない。		
今後の方向性（取組）	今後も大量の人材確保が必要とならない地域事情に合った企業（ＩＴ関連、デジタルコンテンツ、アウトソーシングなど）の誘致に取り組むことに加えて、地域課題の解決や実証事業を通じた関係構築が可能となるスタートアップ企業やベンチャー企業のサテライトオフィスの誘致を進めていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	22	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略２ 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	数値目標
KPI（指標）	Ⅰ 行政が窓口となった年間移住者数【平成 27 年度以降の累計】				
KPI（指標）の考え方	年間 40 世帯 50 人を目標値として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	203 世帯 260 人	243 世帯 310 人	283 世帯 360 人	323 世帯 410 人	363 世帯 460 人
実績値	212 世帯 296 人	261 世帯 365 人	305 世帯 434 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	120.6%
取組の内容と達成状況	きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR及び移住希望者との接点づくりのため、農林業などの継業を入口とした移住体験、移住相談（オンライン相談含む）のワンストップ対応を実施した。また、移住コーディネーターによる移住体験メニューの創生や移住体験時の相談、移住者支援ネットワークを活用したお悩み相談などの定住施策のほか、就業の相談と支援も実施しており、移住希望者が安心して移住できる体制構築により目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	移住体験については、親身になり、丁寧に対応したことで、満足度は高かった。移住相談についても丁寧に対応し、必要な補助金を利用できるように案内できたため、移住者にとって安心できる相談の場所となった。また、過去の相談者の再相談や新規移住希望者らを移住に繋げることで、目標値を上回った。		
今後の方向性（取組）	現施策を継続しつつ、将来的な移住や二地域居住につながる関係人口創出に重点を置き、北×国プロジェクトの活動などをおして、さらなる関係人口数及び移住者数の増加を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	23	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	2 移住定住相談者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間150人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	657人	807人	957人	1,107人	1,257人
実績値	584人	710人	818人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	85.5%
取組の内容と達成状況	ホームページやSNS、情報誌などの効果的な媒体を活用した移住施策PRや、移住イベント等でのきたあきた暮らしの情報発信、移住コーディネーターによる移住者目線での相談対応、概ね目標に近づくことができた。		
取組の評価・分析・課題	首都圏から地方へ移住する機運が高まっている中、SNSの更新頻度を増やして市の魅力発信を行った。市内及び首都圏での移住相談会・イベントを行うことで、興味をもってもらえることが出来たが、首都圏の移住フェアの相談については東北エリアの人气が全国に比べてないことがわかったため、目立つような工夫が必要と感じた。		
今後の方向性(取組)	各種広告媒体の特性を生かし、ターゲット層に合わせたPR方法を検討して、本市の魅力や各種移住支援制度を効果的に周知する。若者や子育て世帯に的を絞らず老後を考えている世代なども積極的に取り込んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	24	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略２ 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI（指標）	3 体験移住参加者数【累計】（ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む）				
KPI（指標）の考え方	年間 60 人を目標値として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	286 人	346 人	406 人	466 人	526 人
実績値	367 人	440 人	485 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	119.5%
取組の内容と達成状況	移住体験メニューの拡充、移住体験住宅の整備、移住コーディネーターによる体験期間中のきめ細やかなアテンド、移住体験イベントの実施などにより、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	オーダーメイドで出来るスケジュール作成により充実した移住体験を実施したほか、北秋田市の認知度を高め、身近に感じてもらえるようにマタギをテーマにしたイベント等を実施したことにより、目標値を上回った。		
今後の方向性（取組）	移住体験メニュー中の限られた期間に効果的にきたあきた暮らしを体験できるように、本市に到着後も何かやりたい希望があれば叶えられるように対応する。またイベント等の実施により将来移住につながる可能性のある潜在層の掘り起こしを行う。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	25	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略２ 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI（指標）	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	年間 50 人を目標値として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	223 人	273 人	323 人	373 人	423 人
実績値	255 人	339 人	401 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	124.1%
取組の内容と達成状況	ホームページやSNS、動画配信サービスなどの効果的な媒体を活用した移住施策のPR、首都圏での移住フェア出展及び移住コーディネーターの配置によるきたあきた暮らしの多様な情報を発信したことにより、目標値を上回った。		
取組の評価・分析・課題	現施策を継続しながら、北秋田市の魅力を instagram や X 等に日々投稿することにより、さらなる移住定住情報提供登録者数の増加を図る。北秋田市を知ってもらうために首都圏での移住フェア出展時に積極的に集客するための声掛けを行う必要がある。		
今後の方向性（取組）	各種移住フェアや広告等の効果的なPRを継続しながら、秋田県やアキタコアベースとの連携を密にし、さらなる移住定住情報登録者数の増加を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	26	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-2 地域間交流の推進
KPI(指標)	1 友好交流都市との交流事業数【累計】				
KPI(指標)の考え方	友好交流都市との取組を令和7年度までに10事業取り組むことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11事業	13事業	15事業	17事業	19事業
実績値	12事業	13事業	14事業	—	—

※「KPI(指標)」「KPI(指標)の考え方」「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	93.3%
取組の内容と達成状況	単年度で終了する交流事業ではなく、継続して行える交流事業をR7年度までに10事業取り組むことを目標として両市の交流窓口部署を中心に取組を推進している。これまでの継続事業に加え、令和5年度は、友好交流都市協定締結5周年を記念してイベント「国立市&北秋田市交流会」を開催した。		
取組の評価・分析・課題	これまで取り組んできた事業をきっかけとして、近年は行政主導の交流から双方の民間事業者・団体が自ら交流を検討・実施するなどの動きが出始めており、行政の枠を超えた関係人口創出の動きが活発化してきている。(※スキー団体による交流事業や一橋大学生など学生を絡めた「北×国プロジェクトなど」)		
今後の方向性(取組)	徐々にではあるが行政を通さず独自に民間事業者・団体同士で連絡を取り合って交流を図る動きが活発になってきている。この流れをより一層進めて行くとともに、行政においても新たな交流事業を模索し、様々な分野への波及を目指す。(※令和6年度においても農福連携事業や音楽を通した新規交流事業を予定している)		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	27	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略３ 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI（指標）	Ⅰ 出生数【単年】				
KPI（指標）の考え方	現状維持を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	93 人	93 人	93 人	93 人	93 人
実績値	89 人	84 人	71 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	D：取組の改善が必要	進捗・達成率（Ｒ５年度）	76.3%
取組の内容と達成状況	若い年齢からの啓発や結婚に向けた支援、不妊治療に対する助成のほか、安心して出産・子育てできるよう仕事と家庭の両立のための支援や子育てに係る負担軽減や不安解消に向けた支援を行った。		
取組の評価・分析・課題	主な取り組みのほか、子どもを産んでからの支援に力を入れてきたが、人口減少と相まって出生数も減少が続いている。根本的な要因を分析しより効果的な取り組みの検討が必要である。		
今後の方向性（取組）	人口減少問題や施策の分析に努めながら部署間の協力体制を強化するとともに、就労機会の確保や仕事と子育ての両立支援など、安心して産み・育てる環境の充実について、官民の関係機関が連携した包括的な取り組みを図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	28	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	Ⅱ 婚姻数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	89組	89組	89組	89組	89組
実績値	57組	55組	42組	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	47.2%
取組の内容と達成状況	独身男女が気軽に参加できる内容の交流イベントの開催を補助し、出会いの機会を創出した。あきた結婚支援センターへの入会登録料全額助成制度、結婚生活応援金事業及びハッピーウェディング住まい応援事業を行ったほか、新たに地域おこし協力隊がNP0法人を設立し、全国つながり創出事業として、全国の結婚相談所に登録されている方とのマッチングを行った。		
取組の評価・分析・課題	既存の制度に加え、新たにNP0法人出会いの杜プロジェクトを設立したことにより、全国の結婚相談所に登録されている方とのマッチングが行えるようになったことで婚姻の可能性が広がった。全国つながり創出事業として上記の登録者数を伸ばす必要がある。		
今後の方向性(取組)	これまでの施策を継続して行いつつ、独身男女の交流イベントや個別のお見合いの他、全国の結婚相談所に登録されている方とのマッチングなど、相談者の要望に沿った結婚支援を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	29	種別	総合戦略	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	2 出生数に占める低出生体重児の割合				
KPI(指標)の考え方	低体重児(2,500g未満)、出生数に対する率について、県と市で年により変動があるため、5年間の平均値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%
実績値	9.0%	6.0%	11.3%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	61.9%
取組の内容と達成状況	妊娠届出を妊娠12週までに申請するよう周知し、妊娠早期から妊婦健診を通して健康管理に努めるよう妊婦全員へ指導した。また、母体側に高血圧症等のリスクがある場合は早産の危険性等説明し、生活習慣の見直し等の指導を個別に行った。助産師から妊娠34週頃の妊婦へ電話をし状況を伺いながら不安・心配事に対し個別に対応した。		
取組の評価・分析・課題	500～1,000g未満が1件、1,500～2,000gが1件、2,000～2,500g未満が6件。低出生体重児で生まれる原因は様々であるが、妊婦自身の持病等が影響しているケースが多かった。妊婦健康診査の費用助成を通して妊婦健診を受ける必要性を伝えるとともに、母子健康手帳交付時や助産師による全妊婦への電話での様子確認を通して全妊婦に対し、妊娠中の健康管理、保健指導に努める必要がある。		
今後の方向性(取組)	継続して妊娠中の健康管理保健指導を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	30	種別	総合戦略	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	戦略３ 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI（指標）	３ 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合				
KPI（指標）の考え方	乳幼児健診アンケートにおいて、現状よりもおよそ 10.0%の向上を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%
実績値	77.1%	76.2%	74.5%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	90.9%
取組の内容と達成状況	母子健康手帳交付時や、マタニティ教室、妊娠 34 週以降の電話支援等、妊娠中からの相談支援の充実を図った。妊娠期から手厚く支援が必要な方や、病院から情報提供があった場合には早期に赤ちゃん訪問し、乳幼児健診・相談でも継続した相談支援に努めた。		
取組の評価・分析・課題	1 歳未満の健診等において 8 割近くの母が体調が「よい」と回答しているのに対し、1 歳以上の健診等で「よい」と答える母の割合は 7 割程度に減少している。妊娠期から 1 歳まではマタニティ教室や育児中のご家族の交流の場である産前産後サポート事業「おい DAY」を通じ相談体制を充実させているが、多くの母が育児休暇を終え職場復帰する 1 歳以上の子を育児する家庭に対して、保育園等の多職種と連携しながら切れ目のない関わりを継続する必要がある。		
今後の方向性（取組）	関係機関と連携しながら、妊娠中からの切れ目のない支援を継続し育児不安の軽減と、児とその家族も含めた支援に努める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	31	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てに関して気軽に相談できる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%
実績値	64.2%	67.7%	75.7%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	116.5%
取組の内容と達成状況	地域子育て支援センターや乳幼児健診での子育て相談のほか、子育て世代包括支援センターとこども家庭総合支援拠点による伴走型相談支援の充実を図った。親支援講座の実施により、子育てに係る心身の負担軽減と不安解消に努めた。		
取組の評価・分析・課題	「相談できる人がいる」と回答した人の割合が過去5年で最高値となり、令和4年度に続いて単年度目標を達成できた。妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない相談支援の取組成果が順調に表れている。		
今後の方向性(取組)	母子保健と児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関として、こども家庭センターの設置を検討し、更なる相談体制の充実と、関係機関とのより一層の連携強化に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	32	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てしやすい環境を整備することで、子育てしやすいまちだと感じる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	66.7%	65.6%	70.3%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	93.7%
取組の内容と達成状況	待機児童や子どもの貧困、児童虐待などの社会環境の変化を踏まえ、地域の実状に対応しながら子ども・子育てに関する各種施策や事業を展開した。		
取組の評価・分析・課題	「子育てしやすい・どちらかといえば子育てしやすい」と回答した人の割合が過去5年で最高値となった。単年度で目標達成はできなかったものの、「第2期北秋田市子ども・子育て支援事業計画」等により子ども・子育て支援事業に取り組んできた成果が表れている。		
今後の方向性(取組)	令和6年度中に「北秋田市こども計画」の策定を予定しており、アンケートの分析結果を踏まえ、実状に対応した施策の展開に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	33	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	1 市の審議会、委員会等の女性参画率				
KPI(指標)の考え方	将来的に女性委員が各定数の半数となることを目標に、期間中に3.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	27.0%	27.5%	28.0%	28.5%	28.7%
実績値	27.2%	32.1%	29.4%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	105.0%
取組の内容と達成状況	庁内の体制確立を図るため、男女共同参画推進連絡会議を書面開催した。前年度より実績減となるも目標達成した。		
取組の評価・分析・課題	年によって多少の増減があるものの、女性参画の重要性に対する認識度は高まりつつある。		
今後の方向性(取組)	女性参画率向上のため、連絡会議において情報共有を図り、より実効性の高い男女共同参画計画の改訂に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	34	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略３ 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI（指標）	２ 市役所における女性管理職員の割合（各年度４月１日現在）				
KPI（指標）の考え方	第３次行財政改革大綱実行プラン及び現在の職員構成状況を鑑み、主幹級以上の職員を管理職として目標値を定めた				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	21.3%	19.4%	18.5%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	61.7%
取組の内容と達成状況	係長相当職が24%、部長課長相当職への登用が11%程度である。		
取組の評価・分析・課題	部長課長相当職への登用率が低く感じるが、分母の関係もあり大幅な底上げには至っていない。しかし、地道に係長級以上の目標を達成し続けることが部長課長相当職への登用の土台にもなり、重要になる。そのための環境づくりや職員の意識改革、人材育成が課題となる。		
今後の方向性（取組）	女性職員を対象としたスキルアップ研修を実施するなど取り組みを行っているが、子育て、介護の時期と重なることが多いことから、令和５年度は実際に女性管理職からライフイベントと職務職責に対し、どう向き合ってきたかをお話いただいた。市としても、より働きやすい職場環境づくりと人材育成の取り組みが必要。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	35	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略３ 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI（指標）	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合				
KPI（指標）の考え方	男性の育児等にかかる時間数の増加を目標とした。当面は総務省社会生活基本調査の秋田県実績より算定するが、市民意識調査の調査項目として追加し、市の数値を把握することとする				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	24.6%	21.9%	28.9%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	96.3%
取組の内容と達成状況	講座や広報等で男女共同参画の意識啓発を行った。前年度より実績増となるも、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	市広報での啓発等により、男性の家事・育児参加等に対する認識が高まった。		
今後の方向性（取組）	市単独での講座開催としてきたが、R6年度は県との共催として開催し、啓発を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	36	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略３ 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI（指標）	４ 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合（取得職員/対象職員）				
KPI（指標）の考え方	男性職員の育児に伴う休暇制度の周知を図り、対象となる男性職員が育児に伴う休暇を取得しやすい職場環境を目指すこととして目標値を定めた				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	50.0%	50.0%	66.7%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	66.7%
取組の内容と達成状況	行政一般職対象職員については61.5%、消防職員については75%の達成状況である。なお、昨年度とは集計方法が異なり、男性育児参加休暇については分割取得が可能となったため、昨年度取得で残日数がある場合も、新たに対象者としている。		
取組の評価・分析・課題	一般行政職だけではなく、消防職等シフト勤務の職員についても休暇制度が認知され、理解の浸透が図られている。しかし、特に配偶者出産休暇（２日）の取得割合が高くなっている一方で男性育児参加休暇（５日）の取得割合は依然として低いのが現状であり、課題である。		
今後の方向性（取組）	引き続き制度の周知に務めるとともに、対象職員に個別に対応し、詳細な制度説明を行っていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	37	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	令和元年以前、育児休業を取得する職員がほぼいなかったため、期間中に対象となる職員の半数が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を図ることとして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	21.4%	50.0%	19.2%	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	38.4%
取組の内容と達成状況	行政一般職対象職員については35.7%、消防職員について育児休業取得者がいなかった。なお、昨年度とは集計方法が異なり、育児休業については分割取得が可能となったため、昨年度取得で残日数がある場合も、新たに対象者としている。育児休業を取得すると共済から給料の約6割の育児休業手当金が支給されるが、無給となり手取りが少なくなるため、大きく勧奨することはしていない。		
取組の評価・分析・課題	制度の周知や情報提供により、上司や同僚の育休取得への理解が得られ、取得しやすい環境づくりに努めている。一般行政職については、男性職員の積極的な取得がみられるが、消防職等シフトや宿直勤務がある職場においては、人的余裕がないこともあり、現実的に取得は困難な状況にある。		
今後の方向性(取組)	引き続き対象者やその上司への制度制対や情報提供を行い、取得を促していく。消防職等、シフト勤務の職員については、人的余裕がなく現実的に取得は困難な状況にあるが、女性消防職も誕生したことから、将来的に取得できる環境構築について検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	38	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	数値目標
KPI(指標)	I 地域が住みやすいという市民の割合【単年】				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%
実績値	71.4%	67.9%	65.7%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	83.7%
取組の内容と達成状況	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金の交付等で支援を実施している。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営等に補助支援を行っているが、高齢化等に伴う担い手不足が課題となっている。		
今後の方向性(取組)	単位組織の拡大化(複数集落での協働)により、自治会等活動の活性化を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	39	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI（指標）	2 活発に活動が行われている自治会（町内会）の割合				
KPI（指標）の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった合川地区の水準を全市の目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%
実績値	59.6%	55.8%	62.1%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	83.4%
取組の内容と達成状況	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金の交付等で支援を実施している。コロナ禍も落ち着き、活動も回復傾向にある。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営等に補助支援を行っているが、高齢化等に伴う担い手不足が課題となっている。		
今後の方向性（取組）	単位組織の拡大化（複数集落での協働）により、自治会等活動の活性化を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	40	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	3 地域活動に何か参加している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	63.7%	61.7%	65.2%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	86.9%
取組の内容と達成状況	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金の交付等で支援を実施している。コロナ禍も落ち着き、活動も回復傾向にある。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営等に補助支援を行っているが、高齢化等に伴う担い手不足が課題となっている。		
今後の方向性(取組)	単位組織の拡大化(複数集落での協働)により、自治会等活動の活性化を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和6年度）第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	41	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI（指標）	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI（指標）の考え方	ふるさと・キャリア教育の推進により、すべての学年において県平均を上回ることを目標とした				

	（令和3年度）	（令和4年度）	（令和5年度）	（令和6年度）	（令和7年度）
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-3.0% 北秋田市 49.9%	県平均-1.7% 北秋田市 47.8%	県平均-1.0% 北秋田市 47.0%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R5年度）	97.5%
取組の内容と達成状況	「当てはまる」と回答した割合は、県平均全体の48.0%に対し市平均全体が47.0%と下まわり、学年別の状況については小5、中2の割合は県平均を上まわったものの、小4、小6、中1の割合が県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	市全体平均の「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を含めた割合は88.0%であり、県全体平均88.1%に比べ0.1%低くなったが、小5、中2では90%以上となり、県平均も上回っている。		
今後の方向性（取組）	R4年度と比較し、「当てはまる」と回答した市全体平均と県全体平均平均の割合の差は、△1.7%から△1.0%に改善したものの、市全体平均はR4年度に比べ0.8%低くなった。地域のイベントや行事等に積極的に参加するよう呼びかけるなど、地域に根ざしたふるさと・キャリア教育の充実を図り、意識の醸成に繋げていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	42	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	調査では、「当てはまる」を選んだ児童生徒が県平均より小で4.2%、中で7.7%少ないため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-7.5% 北秋田市 55.3%	県平均-10.3% 北秋田市 50.9%	県平均-8.8% 北秋田市 51.3%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	85.1%
取組の内容と達成状況	「当てはまる」と回答した割合は、県平均全体の60.1%に対し市平均全体で51.3%と下まわり、学年別の状況についても、中2以外の学年で県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	市全体平均の「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を含めた割合は89.7%であり、県全体平均91.5%に比べ1.8%低くなったが、小4、小5、中2では90%以上となり、中2は県平均を上回っている。		
今後の方向性(取組)	「当てはまる」と回答した市全体平均は、いまだ県全体平均よりも低い結果であるが、R4年度に比べ0.4%上昇し成果の向上がみられた。今後も児童生徒が日々の授業や行事等において、学校に来るのが楽しいと感じ取れるような魅力的な教育に取り組むとともに、一人一人に寄り添った学校づくりを進めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	43	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI（指標）	３ 県学習状況調査における正答率				
KPI（指標）の考え方	秋田県が全国学力・学習状況調査でトップレベルを継続している状況であり、学年によって正答率も異なるため、県平均を上回ることを目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	県平均＋0.1%	県平均＋0.1%	県平均＋0.2%	県平均＋0.2%	県平均＋0.3%
実績値	県平均±0.0% 北秋田市 67.9%	県平均-1.1% 北秋田市 66.4%	県平均-0.1% 北秋田市 68.3%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	99.6%
取組の内容と達成状況	県学習状況調査の正答率は、県平均全体の 68.4%に対し、市平均全体が 68.3%と下まわり、学年別の状況については小４、小５は県平均を上まわったものの、それ以外の学年では県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	学年ごとの正答率は、教科により上下があるが、小５では全教科で県平均を上まわり、県平均の 69.3%に対し、市平均が 73.9%となった。		
今後の方向性（取組）	県学習状況調査の市平均全体の正答率は、R４年度に比べ 1.9%上昇し、教職員の指導力の向上と授業改善に向けた取り組みの成果がみられた。今後も学校訪問時の指導内容の工夫や教育センター事業の取り組みを充実させていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	44	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合				
KPI(指標)の考え方	不登校児童生徒一人一人の特性に合わせて関係機関と連携することで学校復帰につなげるための目標設定とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
実績値	34.6%	36.7%	54.3%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	77.6%
取組の内容と達成状況	不登校児童生徒のうち、保健室登校やステップルーム登校などの児童生徒もいるため、リフレッシュ学園やさわやか教室の利用は低いものとなっている。		
取組の評価・分析・課題	子どもたちの個々の状況に合わせた不登校対策に取り組んだ結果と捉えている。		
今後の方向性(取組)	不登校対策の選択肢の一つとして個々の子どもたちの状況に合わせた対応とし、他の取組との併用も行いながら学校への復帰を促していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	45	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI（指標）	１ 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査（コムコム含む）				
KPI（指標）の考え方	新たに共通様式で満足度調査を実施し、満足度 90.0%を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	84.5%	83.4%	83.0%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	92.2%
取組の内容と達成状況	地域の特性を生かし、市内４地区での高齢者大学開校や市内 11 公民館と市民ふれあいプラザでの公民館講座開設、図書館及び公民館図書室では読書を通じた学習活動の推進を行い、利用者のニーズ把握のためアンケートを実施し、事業を行うための参考とした。		
取組の評価・分析・課題	公民館講座や高齢者大学でのアンケート結果は、生涯学習活動への要望が大きく様々な意見をいただきながら、事業への参考意見として活用している（公民館講座 90.9%高齢者大学 76.4%）。図書館事業では、様々なアンケート項目を設けたことで総合評価での満足度が 59.6%となり、多岐に渡る事業要望が大きい結果となった。		
今後の方向性（取組）	各事業でいただいたアンケートの意見を事業に反映させ、様々な世代の人が参加・利用しやすい学びの場の提供に努めていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	46	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	2 自主講座への移行数【R3~R7年度毎の移行数の合計】				
KPI(指標)の考え方	自主講座へ移行することで、主体的に生涯学習活動に携わることとなるため、年間1講座の増加とし累計で5件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24 講座	25 講座	26 講座	27 講座	28 講座
実績値	23 講座	23 講座	24 講座	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	92.3%
取組の内容と達成状況	各公民館において地域の特色を活かした講座や短期講座を企画し、新たな受講者も参加しやすい公民館講座を企画しているが、自主サークルとして活動していく「自立化」までの意識づけには至らず、目標としている数値には届かなかった。		
取組の評価・分析・課題	生涯学習や市民活動を促進するため、高齢者大学事業や様々な公民館講座の企画・運営、施設使用料減免措置による活動促進と支援、文化祭や生涯学習フェスタなど発表の場を提供するなど学びの楽しさと自立した活動を促している。		
今後の方向性(取組)	専門知識を有する職員(社会教育主事)の養成と配置の推進を行い、魅力ある講座開設はもちろん、学んだ成果を地域で活用できるよう人材育成の体制づくりを目指していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	47	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査で数値の低かった50代や70代以上をターゲットに学びを広げ、市全体で60.0%まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	63.5%	63.5%	60.1%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	100.2%
取組の内容と達成状況	公民館などにおける講座開設や高齢者大学、市職員による出前講座など多様な学習機会の提供、文化祭や生涯学習フェスタなど学びの成果を発表する場を設けることで、生きがいづくりや生涯学習の意識向上につながり意欲的な活動を行った。		
取組の評価・分析・課題	様々な年代のニーズ把握を心がけ、普段は公民館講座に参加しない方にも興味をもってもらえるよう工夫した企画を行っている。また、HPやSNSを活用した情報発信を行うなど若年層にも利用しやすい公民館(生涯学習)活動を心がけている。		
今後の方向性(取組)	市民意識調査の結果、主体的に学習する市民の割合は目標に達したが、引き続き「学習を行っていない市民」が公民館講座や地域活動に参加してもらえるよう「公民館を核とした人づくり・つながりづくり」を目指していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	48	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI（指標）	４ 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査				
KPI（指標）の考え方	学校と地域が一体となり将来の担い手を育成するため、事業内容の充実を図ることで（毎年）満足度 90.0%を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	100.0%	100.0%	90.5%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	100.6%
取組の内容と達成状況	米内沢小では、地域住民の指導・協力のもと竹あかりを制作し、浜辺の歌音楽館前に点灯展示したほか、よさこいを披露するなど地域行事に参加し交流を図ることができた。児童アンケートでは高い満足度となり、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	地域の活性化や「ふるさと愛」の醸成につながる活動ができた。また、地域学校協働活動推進員が、コーディネーターとして関わることで地域と学校の連携、地域ぐるみで子どもたちを育成する環境の基盤作りに繋がった。		
今後の方向性（取組）	広範囲化する学区の中で地域全体で子どもたちを育むという目標にむけ、地域学校協働活動推進員と学校が協働して、地域の特性を活かした活動や子どもたちの「ふるさとを愛する心」を育んでいく活動を検討していきたい。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	49	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】				
KPI(指標)の考え方	講座メニューやPR方法を工夫することで、現在の利用者を64,400人まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	49,000人	53,000人	57,000人	61,000人	64,400人
実績値	48,140人	55,234人	61,369人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	107.7%
取組の内容と達成状況	様々な世代や団体に利用されており、学びの拠点としての役割だけではなく、フリースペースを活用した地域活動や交流人口の場となるよう利用促進を図ってきた。3月25日にはオープンからの累計来館者が200万人目を迎えるなど多くの方に利用され、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	各種団体等の貸館利用は活発化してきており来館者数も増えているため、引き続き自主サークル団体への活動支援(使用料減免等)を図るとともに、HP等で紹介できるよう対応していきたい。また、カフェ・チャレンジブースやねまーる広場の利便性向上にむけニーズ把握に努めていきたい。		
今後の方向性(取組)	コムコムは「憩い・交流・賑わい」拠点施設として様々な世代や団体に利用されており、その役割は達成できているが、今後はコムコムから市街地へ周遊する人の流れを作るため「にぎわいづくり委員会」などの意見を参考にしながら、コムコムを活用した賑わいづくりの取組についても検討していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	50	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成				
KPI(指標)の考え方	共通様式により市内すべての公民館の台帳及び管理計画書を作成することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
実績値	0箇所	2箇所	3箇所	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	25.0%
取組の内容と達成状況	施設ごとに異なる管理台帳を使用しているため、統一した台帳を整備し管理の一元化を目指しているが、施設台帳の整備は3施設のみであった。		
取組の評価・分析・課題	早急に統一様式に必要な項目を入力し、管理台帳の整備に努めていく。		
今後の方向性(取組)	R6年度にはすべての施設台帳の整備を終え、管理計画に役立てていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	51	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】				
KPI(指標)の考え方	建替計画及び既存住宅改修計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	85.0%	85.0%	86.0%	87.0%
実績値	52.9%	54.1%	53.7%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	63.2%
取組の内容と達成状況	計画に基づき、バリアフリー対応の公営住宅3棟6戸を建築したが、建築年数が古く一定のバリアフリー化がされているが用途廃止となる住宅もあるため、目標値には届かなかった。		
取組の評価・分析・課題	計画に基づき建替えを進めているが、多大な事業費を要すること、また、建築年数が古く一定のバリアフリー化がされているが用途廃止となる住宅もあるため、目標達成には時間を要する。		
今後の方向性(取組)	長寿命化計画に基づき、引き続き建替事業を進め、バリアフリー化の向上を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	52	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	2 公営住宅等の入居率(入居戸数/全戸数)【累計】				
KPI(指標)の考え方	政策的空家を除いた509戸を管理基準として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%	90.6%
実績値	82.6%	80.2%	79.4%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	90.2%
取組の内容と達成状況	入居者及び入居希望者が安心して生活できるように維持管理を行っているが、建築年数及び所在地区により入居希望の偏りも見られ、目標値には届かなかった。		
取組の評価・分析・課題	建築年数及び所在地区により入居希望の偏りが見られることから、限られた予算でいかに希望に添うように維持管理していくかが課題となる。		
今後の方向性(取組)	人口減少や入居率を考慮し、団地の集約を図りながら、住宅困窮者の居住の安定を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	53	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI（指標）	３ 特定空家等に認定した家屋のうち、通知３年以内に解体された割合				
KPI（指標）の考え方	危険家屋状態から早期に回避するため、解体割合 90.0%以上を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
実績値	87.5%	88.9%	64.3%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	68.9%
取組の内容と達成状況	特定空家等所有者に対する適正管理の指導により、一部解体に至っているものの、経済的理由等により解体できていないケースもある。		
取組の評価・分析・課題	金銭的理由で対応いただけないケースや、相続放棄および相続登記未了のケースもあるため、解決に時間を要するのが課題である。		
今後の方向性（取組）	特定空家のみならず、将来特定空家になることが予見される管理不全空家等も含め、所有者等に対し適正な管理の呼びかけを行っていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	54	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	4 住宅耐震化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	北秋田市耐震改修促進計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67.0%	67.0%	67.0%	69.0%	71.0%
実績値	64.4%	64.4%	64.4%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	96.1%
取組の内容と達成状況	地震による住宅倒壊被害を軽減し、市民の安全を守るため、耐震診断支援事業、耐震改修計画補助事業、耐震改修補助事業を実施した。		
取組の評価・分析・課題	住宅の耐震化率については、5年に1度の住宅・土地統計調査(次回令和6年1月公表)に基づき算出していることから、令和5年度の実績は北秋田市耐震改修促進計画(第3期計画)の推計値を引用する。		
今後の方向性(取組)	各地で大規模な地震が頻発していることから、引き続き耐震事業の利用促進に向けた周知と制度の充実を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	55	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	規模的に可能と思われる公園を設定し、同意を得られそうな公園1か所を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
実績値	2箇所	2箇所	2箇所	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	E:その他	進捗・達成率(R5年度)	66.7%
取組の内容と達成状況	令和2年度に2自治会との協議が不調に終わって以降、進展はない。		
取組の評価・分析・課題	協議した2自治会の総会に諮ってもらったが、自治会員の減少と高齢化により、維持管理は無理・困難で有との回答があり、今後の状況改善や新たな協議対象団体も見込めない。		
今後の方向性(取組)	自治会等への更なる公園管理委託は困難と判断される。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	56	種別	総合戦略	担当部署	財政課地籍調査室
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI（指標）	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合				
KPI（指標）の考え方	国土調査事業第７次十箇年計画期間中（R2～11）に完了させるため目標を設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	45.0%	50.0%	59.0%	63.0%	76.0%
実績値	45.0%	50.0%	54.0%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	91.5%
取組の内容と達成状況	鷹巣地区市街地の調査を実施しており概ね計画どおり進んでいる。R5は国の内示額が予定の63%であったため、目標値に達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	調査を進めるにあたり、土地所有者の高齢化により現地の立会いが出来ない場合や、相続放棄等で関係者から協力を得るのが難しいケースも生じている。		
今後の方向性（取組）	財源である補助金の交付率が低下しているが、土地所有者等の搜索や立会等に関する条件緩和等により以前より調査しやすくなっている部分もある。他の事業と連携することで活用できる交付金等も模索しながら、計画期間中に調査を完了するように取り組む。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	57	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	1 自宅の除雪について特に困っていることがない市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査の回答割合の高い鷹巣地区や合川地区の水準、並びに前期基本計画の目標値を参考に設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%
実績値	20.8%	14.9%	17.3%	—	—

※「KPI(指標)」「KPI(指標)の考え方」「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	67.1%
取組の内容と達成状況	目標値には達成できていない状況であるものの、「福祉の雪事業」において、主に65歳以上の高齢世帯に対して、間口除雪や屋根の雪下ろし及び除排雪を実施していることにより、回答割合の高かった「玄関や車庫などの雪寄せ」について、60歳代、70歳代の回答割合は他年代に比べ低かった。		
取組の評価・分析・課題	「福祉の雪事業」の対象となりえる65歳以上の高齢者世帯がR3年度より3.7%増加している。また、事業登録世帯数はR3年度より平均780世帯で推移しており、対象世帯の増加に伴い今後ますます除雪に対するニーズが高まってくるものと思われる。		
今後の方向性(取組)	高齢者の冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」を円滑に実施していくためにも、自治会組織へ「事業者登録」の依頼を実施し、事業の担い手確保に努めるとともに、民生委員説明会等においては「地域での共助・地域の担い手探し」への協力依頼を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	58	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	2 自治会や近所の人と協力して(間口や)道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった男性の水準を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%
実績値	35.1%	36.8%	36.3%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	74.7%
取組の内容と達成状況	目標値には達成できていない状況であるが、実績値は昨年度とほぼ同数値(R4実績36.8%)である。地区別においては、阿仁地区が50%を超える高い数値となっており、他地区と比べ積雪量の違いが一因ではないかと推察される。		
取組の評価・分析・課題	60歳代、70歳代以上の協力率が50%を超え高くなっている。40歳代、50歳代も30%台で推移しており、各年代において一定程度の共助活動が見られる。今後も共助意識の高揚と高齢化に伴う世代交代の進展が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域での共助活動や高齢者の冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」等を含め、自治会組織及び民生委員説明会等において「地域での共助・担い手探し」への協力を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	59	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度実績に毎年1団体ずつの増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7団体	8団体	9団体	10団体	11団体
実績値	5団体	3団体	3団体	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	33.3%
取組の内容と達成状況	自治会組織等へ「事業者登録」の依頼を実施し、1団体が新規登録するものの、1団体が廃止したことからR4年度と同数値となった。		
取組の評価・分析・課題	高齢化の進展により、自治会組織等団体として活動することが難しくなっており、団体から個人登録へ切り替えた組織もみられる。今後、団体・個人問わず、高齢化の進展等により担い手(マンパワー)不足により活動が難しくなってくることが予想され、地域の担い手、組織活動の維持が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域での共助活動や高齢者の冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」等を含め、自治会組織及び民生委員説明会等において「地域での共助・担い手探し」への協力を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	60	種別	総合戦略	担当部署	内陸線再生支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	1 秋田内陸線の乗車人数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度現状値までの回復を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	264,000人	264,000人	264,000人	264,000人	264,000人
実績値	177,192人	183,681人	230,579人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	87.3%
取組の内容と達成状況	実績値の内、定期外輸送人員は144,351人と、前年度比では46,229人増(147.1%)となり、順調に回復している。また、インバウンド客は過去最高を記録した。		
取組の評価・分析・課題	乗車人数が回復の一途をたどるものの、コロナ禍以前の定期外輸送人員155,642人(令和元年度)および目標値にはまだ達していない。また、市内の高校生等が減少し、通学利用も減少している。引き続き内陸線ファン拡大の支援を要する。		
今後の方向性(取組)	高校生等が減少している中で、定期券助成の活用を訴え、通学定期の利用率の維持、向上を図る。また企画列車や内陸線関係イベントの情報発信を積極的に行い、ファン拡大および乗車につなげる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	61	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数				
KPI(指標)の考え方	鷹巣線の減少(スクールバス化:吉野学園△7,300人)を踏まえた現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人
実績値	122,254人	122,459人	126,076人	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	96.2%
取組の内容と達成状況	令和5年3月に策定した地域公共交通計画に基づき市内全域を対象とした持続可能な交通体系実現に向けた取り組みを検討した。令和5年度は市民要望等に基づいて、デマンド型乗合タクシーの一部路線の増便や運行形態・運行区域の変更を行った。また、待合環境の向上を図るため、新たに1路線でフリー乗降区間を設けた。		
取組の評価・分析・課題	運転免許返納者をはじめとする交通弱者対策のひとつでもある「じょうもんパス」が開始から3年目を迎えており、順調に実績が伸びている状況であるため、さらなる利用促進に向けて周知・PRを図る必要がある。また、公共交通路線沿線地域のさらなる人口減少が進行するため、実態の把握に努めながら交通空白地を作らない取組が必要となる。		
今後の方向性(取組)	令和5年3月に策定した北秋田市地域公共交通計画では主要な公共交通路線網の維持・確保に努めながら、少子高齢化や人口減少をはじめとする社会環境変化により、顕著な変化が進む交通需要に合わせて公共交通系統を見直すなど、今後とも市民の理解と交通事業の協力を得ながら各種施策を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	62	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	3 大館能代空港利用者数				
KPI(指標)の考え方	3 便化政策コンテストにおいて目指した数値(1年後ろ倒し)を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	207,740人	219,020人	222,404人	225,600人	233,000人
実績値	45,346人	145,617人	173,057人	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	77.8%
取組の内容と達成状況	利用促進協議会と連携した各事業(圏域の翼、企業ファンクラブなど)の実施や、市・県がそれぞれ運賃助成等を実施するなど利用促進を推進し前年比27,000人程度の利用者増となった。しかし目標値までは大幅な乖離があるため、令和6年度以降も利用促進事業を実施する予定である。		
取組の評価・分析・課題	行動制限が緩和され、1日3往復運航が開始されてから1年が経過し、市民への周知が図られ、利用者数は伸びているものの、最終年度の目標値とは乖離がある。引き続き、運賃助成や旅行商品造成支援で市民へ利用促進を行い、飛行機利用が定着するよう周知を行う必要がある。		
今後の方向性(取組)	3便化の継続に向けた取組として、個人やビジネス利用者への助成制度を継続するほか、シニア世代への航空券予約セミナー、ANAからのタイムセール情報の発信など県や利用促進協議会等と連携を図りながら、PR活動、チャーター便利用促進への取組を展開する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	63	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI（指標）	１ 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合				
KPI（指標）の考え方	市民意識調査において割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%
実績値	58.2%	60.4%	60.1%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	87.9%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知に引き続き取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	広報やHP等で防災意識の高揚に努めたが、結果としてR4を下回った。災害の恐ろしさを知ることによって防災意識の高揚を図ることが必要。		
今後の方向性（取組）	各種イベントなどで災害のパネル展示や備蓄品の展示、紹介などを通じて、市民一人ひとりの防災への意識を高める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	64	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	2 防災情報メール登録者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	効率のよい市の情報を取得する手段として登録いただくよう、毎年100人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,845人	1,945人	2,045人	2,145人	2,245人
実績値	1,731人	1,914人	1,940人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	94.9%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座でも周知しているが、他ソーシャルメディアへの移行や転出等に伴う解約が見られ、全体の増加にはつながらなかった。		
取組の評価・分析・課題	悪天候による災害の連絡やクマの出没等の緊急放送については、複数のツールを使うことで情報が伝わりやすくなる。		
今後の方向性(取組)	広報やHP等で引き続き防災メールの重要性をPRするとともに他メディアとの併用を呼びかける。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	65	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	3 自主防災組織の結成数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間3団体の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48 団体	51 団体	54 団体	57 団体	60 団体
実績値	45 団体	48 団体	49 団体	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	90.7%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座による周知、PRに努めたが、1団体のみの増加に留まった。		
取組の評価・分析・課題	ほとんど団体が自治会・町内会＝自主防災組織となっており、自治会・町内会の活動の延長で組織されることが多い。より、組織率の低い森吉地区へのPRは特に必要。		
今後の方向性(取組)	R5から始まった県による防災士養成講座を利用して防災士を養成し、防災士による講義やアドバイスを基に自主防災組織の結成、防災意識の醸成に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	66	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI（指標）	４ 防災ラジオ配布割合				
KPI（指標）の考え方	配布割合 90.0%を目標とした。（※8,957世帯⇒11,325世帯（2,368世帯増加））				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%
実績値	74.3%	75.7%	76.8%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	85.2%
取組の内容と達成状況	広報やHP等による周知のほか、不動産会社を通じてPRした結果、数十件のまとまった貸与につながった。		
取組の評価・分析・課題	H30から防災ラジオの運用を始めており、運用開始から６年が経った。新規で貸与を希望するのは、北秋田市に転入した方のほか、クマ出没の増加により貸与を希望する方が増えた。		
今後の方向性（取組）	災害情報のほか、普段はイベント情報や市の業務案内と幅広い情報を瞬時にお知らせできるツールとして非常に重要。近年はクマ目撃情報による緊急通報への活用もあり、今後も引き続き、重要性和有用性のPRを続ける。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	67	種別	総合戦略	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI（指標）	5 河川環境の整備【累計】				
KPI（指標）の考え方	令和３年度から実施を予定している緊急浚渫推進事業計画（案）に基づき、目標を設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	３河川	５河川	９河川	１３河川	１３河川
実績値	３河川	５河川	１０河川	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	111.1%
取組の内容と達成状況	水害対策として、流下能力低下の原因となる堆積土砂の除去を行った。今年度は５河川の浚渫工事を実施し目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	浚渫工事により、河川の氾濫や決壊の要因を取り除くことができ、水害対策が図られた。		
今後の方向性（取組）	今後も水害対策の一環として、浚渫工事を進めていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	68	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI（指標）	１ 北秋田市でテレワーク（ワーケーション）に取り組む経費を助成する件数（累計）				
KPI（指標）の考え方	県外の民間企業等が北秋田市で行うワーケーションに対し、県又は市が経費を助成する件数を令和３、４年度を年２件、令和５年度からは年４件として目標を設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	２件	４件	８件	１２件	１６件
実績値	０件	９件	１２件	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	150.0%
取組の内容と達成状況	令和５年度は、これまで誘致折衝を行ってきた企業や市関係の大学生のワーケーションを誘致できるなど、地域への経済効果を含め目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	北秋田市と事業を展開している事業者に対して、ワーケーションを勧めることにより、飲食・宿泊費用が発生し、地域経済の活性化に寄与することから、様々な課で実施できる取り組みであり、リピーターになることで関係人口の創出に繋がる。		
今後の方向性（取組）	ワーケーション実施補助金の制度化や秋田でワーケーションコーディネート体制強化事業（県移住定住）など様々な関係団体とともに事業を実施し北秋田市の名をPRしていくことで、他団体との差別化を図っていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	69	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略４ 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI（指標）	２ オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数を目標として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	45 人	90 人	135 人	180 人	225 人
実績値	98 人	139 人	174 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	128.9%
取組の内容と達成状況	LINE アプリを使った移住相談や補助金制度の問い合わせなどを実施し、それぞれの相談者が希望する相談方法で気軽に相談できるようになった。		
取組の評価・分析・課題	若者にとっては平日の日中に移住相談することは難しい状況であるが、LINE アプリを活用することによってより気軽に曜日や時間にとらわれず相談が可能になった。		
今後の方向性（取組）	移住イベントや関係人口イベント等でLINEの登録を積極的に勧めることで、気軽に相談できる環境の整備を取り組みたい。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	70	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念 1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI (指標)	1 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合				
KPI (指標) の考え方	前期計画期間の調査結果は 60.0%前後で推移し、目標値未達であることから、引き続き前期と同じ目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%
実績値	56.8%	57.6%	50.8%	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R5年度)	80.6%
取組の内容と達成状況	夜間初期救急医療の実施や訪問看護事業所への支援を継続して行ったほか、新たな公立診療所の医師確保に努めた。		
取組の評価・分析・課題	年間を通じて、急な発熱や入院するほどではない急病などの夜間初期救急医療の確保に努めた。訪問看護提供体制維持に向けては、運営費の一部助成を行っているがR5年度に事業所が一つ減ったため、更なる体制強化の支援が必要。阿仁診療所については、新たな医師確保を実現できた。		
今後の方向性 (取組)	開業医の高齢化や医療機関の中心市街地偏在等により医療提供体制の劇的な改善は望めないが、医療 DX の導入を視野に入れ、地域医療の充実に取り組む。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	71	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	2 市民病院の常勤医師数(※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数)				
KPI(指標)の考え方	秋田県医師確保計画における北秋田医療圏の目標医師計画値を基準とし、地域の中核病院として、より充実した医療サービスを提供するための医師数を目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人
実績値	23.0人	23.6人	24.1人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	100.4%
取組の内容と達成状況	市民病院の医師充足率向上と診療科偏在解消のため、秋田大学医学部等へ継続した医師派遣要請を行った。医師充足率はここ数年100%超を維持している。		
取組の評価・分析・課題	医師の法定必要数は維持しているものの、常勤医のいない或いは不足している診療科が依然存在する。		
今後の方向性(取組)	創設当初の役割を一定程度果たした常勤医師奨励金制度の見直しで、財源を他の施策に振り向ける。また、医師確保に向けて、医師紹介会社の活用などを含め新たな実効性のある施策を検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	医師数の算定期間: R6.3.1
----	------------------

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	72	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	3 北秋田市民病院満足度(職員の対応)				
KPI(指標)の考え方	病院職員の接客対応改善を図るため、これまでの調査結果における高い数値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%
実績値	97.2%	99.0%	88.9%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	92.6%
取組の内容と達成状況	患者さんの満足度向上に向けて医師及びコメディカルスタッフの接遇意識の向上に努めた。		
取組の評価・分析・課題	職員の対応についてはある程度満足いただいている状況ではあるが、利用者から改善が必要なご意見もあることから、継続的な取り組みが必要となる。		
今後の方向性(取組)	全職員に向けて接遇研修を実施し、接遇意識の向上に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	73	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI（指標）	1 健診受診率（特定健診）				
KPI（指標）の考え方	「第２期健康秋田 21 計画」より目標値を設定した。※第３期特定健康診査等実施計画は 35.0%（R5）としている				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
実績値	36.7%	36.7%	38.8%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	97.0%
取組の内容と達成状況	集団健診の受診数は昨年より減少したものの、個別医療機関方式での受診数が増加した。健診未受診者へハガキによる受診勧奨を年２回実施することで、集団健診を逃した方も個別医療機関方式での受診に結び付いたと思われる。		
取組の評価・分析・課題	受診率は年々増加傾向にあり、受診率向上事業開始年度（R２年度）から４年間で 9.5%伸び、R5 目標も達成できた。保健師が出向く地域のサロン等でも健診受診を広く呼びかけ、受診につなげていく。		
今後の方向性（取組）	ハガキによる受診勧奨やかかりつけ医と連携した受診勧奨を併行し、通年で健診について周知していく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

（令和6年度）第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	74	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI（指標）	2 がん検診受診率（5 大がん検診受診率の平均、全対象に対する率）				
KPI（指標）の考え方	「第2期健康秋田21計画」の目標値は50.0%（R5）だが、受診率の算定方式が変更となり、「保険者努力義務支援評価基準」から25.0%とした				

	（令和3年度）	（令和4年度）	（令和5年度）	（令和6年度）	（令和7年度）
目標値	平均 25.0%	平均 25.0%	平均 25.0%	平均 25.0%	平均 25.0%
実績値	平均 9.1%	平均 8.9%	平均 8.7%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R5年度）	34.8%
取組の内容と達成状況	5 大がん検診において前年比、全体的に受診率が減少した。ただし、大腸がん検診においては、職域との連携を図ったこともあり受診率が増加している。また、乳幼児健診や産業祭などで個別医療機関での検診のPRを行ったが、前年比減少となった。		
取組の評価・分析・課題	令和5年度よりWEB予約による予約方法を拡充したことにより、特に若い世代からの予約が多かった。今後も広くPRし、検診受診につなげたい。また、働き世代が多い企業等との連携も継続して実施していく。前年比、個別医療機関での検診受診率が全体的に減少したため、PR方法等検討が必要。		
今後の方向性（取組）	検診の重要性について理解を深めてもらうよう受診勧奨チラシや、HP等で周知を図り、受診につなげる。また、受診しやすい環境（個別医療機関方式の充実、WEB予約など）の整備に努める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	75	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念１ 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI（指標）	３ メタボリックシンドロームとその予備群の割合				
KPI（指標）の考え方	北秋田市健康宣言において 10 年間(R8)でメタボ予備群を 10.0%以下に減らすと宣言していることから 10.0%を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
実績値	9.5%	10.1%	7.6%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	131.6%
取組の内容と達成状況	保健師が対象者へ連絡を取り、同意を得た方に対して特定保健指導を実施した。サポートメニューとして市民プール運動指導士による運動教室や、市管理栄養士による調理実習、血液検査を無料で実施できるよう計画した。		
取組の評価・分析・課題	目標である 10.0%を下回る成果となった。指導を受けた者の多くは運動・食事の両面で行動変容がみられた。毎年対象になる方もおり指導がマンネリ化することが課題ではあるが、指導のプロセスとアウトカムを意識し、継続的な支援を行う。		
今後の方向性（取組）	継続してメタボ予防に取り組む。特に積極的支援対象者は-2kg、-2cmの成果を意識して介入する。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	76	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	4 自分のことを健康だと思う市民の割合				
KPI(指標)の考え方	現状より増加することを目標とした。※市民意識調査より				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	68.3%	69.4%	67.7%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	96.7%
取組の内容と達成状況	「とても健康である」「どちらかといえば健康である」と答えた割合の合計は令和4年度69.4%から令和5年度は67.7%とやや減少したが、「とても健康である」と答えた割合は令和4年度11.3%から令和5年度は14.9%と上昇傾向にある。		
取組の評価・分析・課題	年代別で見ると「とても健康である」と答えた割合は、10～20歳代が40.0%であるのに対して、50歳以上の年代では10%を下回り、年代が高くなるほど割合が低くなる傾向がある。どの年代でも「健康である」と答える割合の増加が課題。		
今後の方向性(取組)	健診を毎年受診し自身の健康状態を客観的に確認することや健診により要観察や要治療となった方が適切に医療受診することが「健康」につながると考える。そのため健診受診受診勧奨を引き続き継続していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	77	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	5 健康診断を受けている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	特定健診、後期高齢者健診を受けている割合として目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	23.0%	23.1%	25.9%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	86.3%
取組の内容と達成状況	特定健診に加え、令和5年度からは後期高齢者健診の未受診者への受診勧奨通知を実施し、下半期の受診者数の増加が見られた。個別医療機関での受診の増加が大きい。通知に加え、各教室や通いの場での受診勧奨も実施した。		
取組の評価・分析・課題	未受診者への受診勧奨通知により受診者数の増加がみられ勧奨通知による効果はみられた。特定健診2.1%、後期高齢者健診3.9%増加した。今後は、治療中の方の健診受診者数を増やすためにかかりつけ医の理解と協力が得られるように医師会等との連携に努める必要がある。		
今後の方向性(取組)	未受診者対策を継続して実施する。また各教室や通いの場での健診受診勧奨を行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	78	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	6 心はればれゲートキーパー養成講座受講者数				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市いのち支える自殺対策計画」より、受講者数毎年100人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100人	100人	100人	100人	100人
実績値	99人	33人	20人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	20.0%
取組の内容と達成状況	開催地が遠方のため、参加者が伸びず目標に達することができなかった。市役所職員向けの開催は特に新採用職員に向け呼びかけた。		
取組の評価・分析・課題	民生委員の定例会などで周知を図るなどし、誰もが地域で安心して生活していくため、悩みを抱える人への早期の気づきに対応できる人の養成をさらに増やしていく必要がある。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携しながら、周知を図り、新規の受講者を増やしていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	79	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI（指標）	1 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数（11人）に準じた目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	77人	88人	99人	110人	121人
実績値	59人	81人	102人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	103.0%
取組の内容と達成状況	自立支援制度に関わる各種相談受付、就労支援、家計相談支援を実施し、支援調整会議において関係機関と支援方法について意見交換を実施し、概ね順調に推移した。		
取組の評価・分析・課題	支援調整会議を定期的に開催し、生活困窮者の抱える課題に沿った支援プランを策定した。		
今後の方向性（取組）	制度の周知の強化と、就労プラン作成から一般就労へつなげるよう取り組む。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	80	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI（指標）	2 ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】				
KPI（指標）の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数（10人）に準じた目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	67人	77人	87人	97人	107人
実績値	47人	55人	59人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	67.8%
取組の内容と達成状況	北秋田市社会福祉協議会のくらし相談センターにおける相談受付、支援実施等により社会参加、就労することを目指した。		
取組の評価・分析・課題	市内にひきこもりの方がどれくらいいるのか、把握できていない。具体的なひきこもりの基準は定めておらず、相談内容等により該当するか判断し、支援につなげている。		
今後の方向性（取組）	ひきこもりは、個々の事情が異なるため対応方法も様々となるが、長期的な支援を行うために、北秋田市社会福祉協議会のくらし相談センターや当事者の会である「きたきた希望の会」と連携し、包括的な取り組みを進める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	81	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%
実績値	86.1%	89.5%	87.6%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	95.4%
取組の内容と達成状況	民生児童委員や社会福祉協議会等と連携し、地域住民の抱える課題を解決できるよう取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	目標値は若干下回っているが、関係各機関との連携により、約90%の人が相談できる人がいる状況を維持できた。		
今後の方向性(取組)	民生児童委員の地域での積極的な相談支援活動と、社会福祉協議会を始めとする各関係機関との連携等により、地域で支え合う力を高めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	82	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI（指標）	1 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合				
KPI（指標）の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
実績値	66.3%	66.9%	67.2%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	98.8%
取組の内容と達成状況	目標値は達成できていない状況であるが、三圏域の地域包括支援センターによる介護予防教室や出前講座により、急激な認定者数の増加はみられていない。		
取組の評価・分析・課題	高齢化の進展に伴い、介護予防教室への参加が困難になったり、サロン活動を維持することが困難となる地域もある。介護予防教室への参加、サロン活動の維持が課題である。		
今後の方向性（取組）	地域包括支援センター等による介護予防への取り組みを強化し、介護予防教室への参加、地域のサロン活動の維持に努める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	83	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI（指標）	2 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合				
KPI（指標）の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
実績値	96.3%	96.4%	96.1%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R５年度）	99.1%
取組の内容と達成状況	目標値は達成できていない状況であるが、三圏域の地域包括支援センターによる介護予防教室や出前講座により、急激な認定者数の増加はみられていない。		
取組の評価・分析・課題	高齢化の進展に伴い、介護予防教室への参加が困難になったり、サロン活動を維持することが困難となる地域もある。介護予防教室への参加、サロン活動の維持が課題である。		
今後の方向性（取組）	地域包括支援センター等による介護予防への取り組みを強化し、介護予防教室への参加、地域のサロン活動の維持に努める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	84	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	20.6%	23.1%	20.4%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	24.5%
取組の内容と達成状況	地域包括支援センターにおける総合相談対応件数は、令和4年度の4,497件を下回ったものの3,148件の実績があり、地域で相談できる体制の効果が現れているが、目標の達成は出来なかった。		
取組の評価・分析・課題	地域包括支援センターの認知度は向上しているが、地域へ出向いての実態把握や、訪問による相談対応等、早期対応が不足していることが課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センターにおける総合相談対応、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等の早期対応に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	85	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI（指標）	4 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合				
KPI（指標）の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%
実績値	39.3%	41.1%	42.0%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	86.9%
取組の内容と達成状況	地域包括支援センターにおける総合相談対応件数は、令和４年度の４,４９７件を下回ったものの３,１４８件の実績があり、地域で相談できる体制の効果が現れているが、目標の達成は出来なかった。		
取組の評価・分析・課題	地域包括支援センターの認知度は向上しているが、地域へ出向いての実態把握や、訪問による相談対応等、早期対応が不足していることが課題である。		
今後の方向性（取組）	地域包括支援センターにおける総合相談対応、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等の早期対応に努める。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	86	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	1 福祉施設入所者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(6.0%)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	122人	122人	122人	122人	122人
実績値	130人	127人	130人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び各福祉施設等の関係機関と連携し、福祉施設から地域へ安心して移行できるように、地域移行を希望される方に対して情報提供等の取り組みを行った。		
取組の評価・分析・課題	福祉施設入所中の方は、障害程度が重度の方が多いため、地域移行することが困難な場合が多い。		
今後の方向性(取組)	令和6年度から開所となった地域生活支援拠点を活用するとともに、関係機関と連携して地域移行に取り組むことで、移行後も安心して生活できるような支援体制の拡充を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	87	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	2 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(1.27倍)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	16人	16人	16人	16人	16人
実績値	9人	12人	15人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センターと連携し、一般就労への移行を希望される方に対して、情報提供を行った。		
取組の評価・分析・課題	当市には、障がい者の一般就労への移行を支援する「就労移行支援事業所」や「就労定着支援事業所」がないことが課題である。		
今後の方向性(取組)	就労先の障がい者に対する理解や対応、一般就労を希望する障がい者の就労意欲の支援等、関係機関と連携し、障がい者に寄り添った相談支援や情報提供に努めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	88	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI（指標）	3 福祉施設から就労継続支援Ａ型・Ｂ型への移行者数				
KPI（指標）の考え方	目標値は厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標を踏まえ、Ａ型については指標（1.26倍）どおりに、Ｂ型については前期基本計画期間内実績の平均（88人）を踏まえた目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	A型 5人 B型 88人	A型 5人 B型 88人	A型 5人 B型 88人	A型 5人 B型 88人	A型 5人 B型 88人
実績値	A型 5人 B型 101人	A型 3人 B型 84人	A型 3人 B型 99人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	109.7%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センターと連携し、就労継続支援事業所を希望される方に対して、相談支援や情報提供を行った。		
取組の評価・分析・課題	障がいの特性により向き不向きがあったり、就労環境によって就労意欲が減退したりすることがあるため、個々の実情に合わせた相談支援や情報提供が重要であるとする。		
今後の方向性（取組）	引き続き、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター、就労継続支援事業所と連携し、就労意欲の促進を図るとともに、障がい者と就労先の連携のフォローを行っていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	89	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI（指標）	4 就労移行支援事業の利用者数【累計】				
KPI（指標）の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標（現状の利用者数（２人）を確保）に準じた目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	６人	８人	１０人	１２人	１４人
実績値	３人	３人	３人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	30.0%
取組の内容と達成状況	市内に就労移行支援事業所がないため、市外の事業所を利用せざるをえず移動の問題から利用者数は多くないが、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、相談支援や情報提供等の取り組みを行っている。		
取組の評価・分析・課題	市内に就労移行支援事業所がないことや、市外の事業所を利用する場合の距離的な移動の問題が課題である。		
今後の方向性（取組）	引き続き、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、就労移行支援の相談支援や情報提供を行っている。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	90	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念２ お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI（指標）	5 公共施設バリアフリー率【累計】				
KPI（指標）の考え方	バリアフリー基準（最低６項目）に１項目で該当する可能性のある施設数（６）を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	24.5%	25.7%	26.9%	28.1%	29.3%
実績値	24.7%	24.7%	23.4%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	87.0%
取組の内容と達成状況	公共施設のバリアフリー化には、施設改修を伴うものが含まれるが、概ね目標値に近づいた。		
取組の評価・分析・課題	既存施設は予算事情もあり、大きな改修には時間がかかるケースもあるが、新設施設ではバリアフリー化が進んでいる。		
今後の方向性（取組）	障害の有無にかかわらず、全ての人が使いやすい施設の在り方を検討し、バリアフリー化を進めていく。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	91	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	1 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	世界遺産としての価値を知ってもらうために、前期同様 50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	31.9%	39.8%	39.4%	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R5年度)	78.8%
取組の内容と達成状況	R5年度比較すると実績値はやや減少したが、県をはじめ、観光関係の部署や機関、ボランティアと連携し、発信ができた。		
取組の評価・分析・課題	県外からの来訪者が増加しており、縄文遺跡群のめぐるツアーが造成されている。20代から50代の見学者が増えている。		
今後の方向性 (取組)	引き続き遺跡の学術的な価値の発信や、世界文化遺産としての知名度を向上するような事業を計画し、来訪者の増加を図る。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	92	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	2 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	世界遺産を目指す伊勢堂岱遺跡に関して、市民の意識醸成を図る意味で現状値の倍以上の5.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	2.5%	0.3%	2.8%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	56.0%
取組の内容と達成状況	縄文まつりの参加者数は過去最高を記録する等、様々なイベントを実施したにもかかわらず、目標値には達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	縄文まつり及び縄文館講座のイベント参加者を分析すると、市外からの参加も多い。		
今後の方向性(取組)	特に市内の若年層がイベント等へ参加できるきっかけづくりを引き続き検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	93	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	3 伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数【累計】				
KPI (指標) の考え方	新たにボランティアを始める人を年1人ずつ増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1人	2人	3人	4人	5人
実績値	0人	1人	3人	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率 (R5年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	ワーキンググループと共同でイベントなどの様々な機会を利用し、新会員募集を行った結果、2名の新規加入があった。		
取組の評価・分析・課題	HPで更新し、ワーキンググループの活動を周知する等、PRを強化した。		
今後の方向性 (取組)	引き続きHPやSNSで周知する。ガイド活動だけでなく、研修や体験活動も行っていることをPRしたい。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	94	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課文化振興係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	4 芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	芸術や文化に触れることで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすことにつながるよう、8.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
実績値	4.2%	4.1%	4.6%	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R5年度)	57.5%
取組の内容と達成状況	公民館・自主講座の成果発表の場として文化祭や各地区の芸術文化交流等へ補助金を交付している。コロナで低迷していたが、コロナ前までの数字へ推移している。		
取組の評価・分析・課題	芸術文化の鑑賞率は伸びているが、自身が参加するのにはまだハードルが高いことと周知が及んでいないことが挙げられる。		
今後の方向性 (取組)	講座などに気軽に参加できる環境と、文化祭等での関心や魅力を広められるよう、工夫 (体験コーナーの充実等) や広い周知が必要。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	95	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化財係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	5 市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	地域にある文化財を知ることによってその価値を知るきっかけとなり、地域の宝として継承することにつながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	55.0%	57.5%	60.0%	62.5%
実績値	52.9%	56.3%	56.2%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	97.7%
取組の内容と達成状況	「5つ以上知っている」と答えた割合が56.2%と最も高く、次に「1つ以上は知っている」が40.8%となっている。両項目を合わせると96.7%となり、地元にある文化財に対して市民の関心が高い結果となっている。		
取組の評価・分析・課題	令和5年度は学校教育課から市文化財審議会へ副読本「きらり☆きたあきた」の市の歴史表現や市文化財の経緯などを校正する依頼を受けて、各委員が文化財にかかる表現等を確認した。また、文化財の確認については、熊の出没が多くなった影響で、里山近くの文化財を巡回することができなかった。		
今後の方向性(取組)	市指定の文化財は95(R6.3.31現在)ある。市内の各地域や個人所有の未指定文化財が数多くある。事務局が文化財として該当すると思われるものを市文化財審議会に提案し、審議会において調査研究し指定の可否を決していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	96	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化財係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	6 祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合				
KPI(指標)の考え方	祭りや伝統芸能等の地域行事に参加することで、祭りや伝統芸能等の保存継承につながるよう、35.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%
実績値	16.2%	18.3%	25.8%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	73.7%
取組の内容と達成状況	ここ数年で祭や伝統芸能への取り組みの体制少子化や地域の体制が変化してきた。伝統芸能に参加したはR4では18.3%と感染症の影響が大きく残ったが、R5頃から市民の取り組みの意識も変わり、参加の割合も増加に転じている。		
取組の評価・分析・課題	伝統芸能は、これまで各地域において継承してきた。地域の芸能として住民がお互いを思いやる気持ちなどを子や地域内の住民の絆を強くしてきた。地区の祭りなどで披露されていた芸能は、民俗芸能大会で広く市民に周知されている。		
今後の方向性(取組)	現在活動を中止している団体が多くなってきている。また少子化等により芸能を継承する子どもが少なくなっていることが主な原因と認識しているが、今後も伝統芸能等の地域行事の周知に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	97	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課文化振興係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	7 市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合				
KPI(指標)の考え方	芸術文化を鑑賞することで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすこと、また鑑賞の場の提供の在り方等の評価につながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	38.0%	40.0%	42.0%	44.0%
実績値	36.0%	44.0%	53.6%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	134.0%
取組の内容と達成状況	目標の数字は達成していて、市民の関心の高さが伺える。そのような意識を持ってもらえる環境づくりが出来ていると感じる。		
取組の評価・分析・課題	主に市外での鑑賞が多いと感じている。市内での芸術文化の催しにも足を運んでもらう施策が必要。		
今後の方向性(取組)	文化祭など身近な芸術文化の催しの他、文化会館・音楽館等の事業を継続し、万人受けするもの以外にも、コアなファンがいる催しも大切にしたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	98	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課スポーツ振興係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	1 運動・スポーツに対する満足度				
KPI (指標) の考え方	少子化・人口減少が見込まれる中だが、市民意識調査における現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	57.0%	59.1%	58.2%	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R5年度)	83.1%
取組の内容と達成状況	既存スポーツ施設の維持管理、用器具等の整備を図り、スポーツ環境の向上に努めた。		
取組の評価・分析・課題	スポーツ施設の維持管理を実施し、スポーツの機会を増やすためのスポーツ教室、大会等を開催しながらスポーツ環境の充実に努めているものの、スポーツに関する情報発信が思うようにできていない。		
今後の方向性 (取組)	スポーツ施設の適正な維持管理やスポーツ教室の開催等を行っているが、それらが市民に伝わっていない。まずはホームページの内容を充実させる。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	※スポーツ推進に関する市民意識調査 (スポ振独自) 調査対象: 市内の満18歳以上の男女 対象者数: 1,400人		
----	--	--	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	99	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課スポーツ振興係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	2 週1回以上運動・スポーツをする市民の割合				
KPI (指標) の考え方	県の目標値は週1回以上 65.0%となっているが、市民意識調査における本市の特性を踏まえ、50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	39.6%	42.5%	38.3%	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R5年度)	76.6%
取組の内容と達成状況	チャレンジデーや市民レクリエーション大会など、市民参加型のイベント等をとおして、スポーツをする機会の拡大に努めた。		
取組の評価・分析・課題	スポーツ施設の維持管理を実施し、スポーツの機会を増やすためのスポーツ教室、大会等を開催しながらスポーツ環境の充実に努めているものの、スポーツに関する情報発信が思うようにできていない。		
今後の方向性 (取組)	スポーツ機会を拡充させるため、定期的に体育施設の無料開放日などを設けるなどし、市民が運動しやすい環境を創出していく。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	※スポーツ推進に関する市民意識調査 (スポ振独自) 調査対象: 市内の満18歳以上の男女 対象者数: 1,400人		
----	--	--	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

N O	100	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課スポーツ振興係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI（指標）	3 スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】				
KPI（指標）の考え方	補助事業の活用を広く周知することで、現状値以上を目標値とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	延べ 500 名 5 団体	延べ 500 名 5 団体	延べ 500 名 5 団体	延べ 500 名 5 団体	延べ 500 名 5 団体
実績値	0 名 0 団体	0 名 0 団体	延べ 377 人 4 団体	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	75.4%
取組の内容と達成状況	コロナウイルスの５類移行に伴い、実績のあった団体が合宿を再開するなどし、４団体に補助金の交付した。実績のある企業・団体への誘致も引き続き行ったが、実施には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	実績のあった団体の合宿再開や東北総合スポーツ大会の秋田県開催に伴い合宿が行われた。一過性のもので終わらせることなく、継続して開催してもらえるよう取り組む必要がある。		
今後の方向性（取組）	当市のスポーツ施設、宿泊施設等をPRしながら、新規合宿誘致、継続に向けた取り組みを図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	101	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量				
KPI(指標)の考え方	平成26年度と令和元年度の家庭ごみ総排出量を比較し、その増減率から目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日
実績値	689g/人・日	705.7g/人・日	671.1g/人・日	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	95.8%
取組の内容と達成状況	イベントや出前講座のほか、広報誌等でリサイクル及びごみ減量化の重要性(3Rの推進)について周知を図った。		
取組の評価・分析・課題	人口減少に伴い、家庭から収集されるごみや直接搬入されるごみは減少傾向であるが、一度に大量に排出される空き家の片付けごみは増加傾向にある。		
今後の方向性(取組)	市民1人1人のごみ減量に対する自覚を促すため、市広報等や出前講座等を活用して3Rの推奨や食品ロスの削減に向けた啓発活動を図る。可燃物の組成分析に基づき、より効果の高い対策を講じていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	102	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	2 総資源化率(リサイクル率)				
KPI(指標)の考え方	一般廃棄物処理基本計画に掲げた目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	15.4%	15.7%	18.6%	21.5%	24.6%
実績値	15.1%	15.8%	15.1%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	81.2%
取組の内容と達成状況	イベントや出前講座のほか、広報誌等でリサイクル及びごみ減量化の重要性(3Rの推進)について周知を図った。また、古着・こでん等のイベント回収を行い、ごみの減量とリサイクルに対する市民意識の啓発を行った。		
取組の評価・分析・課題	イベント回収は市民にも好評で、リサイクル意識の高揚に効果的であった。しかしながら、資源ごみを可燃ごみとして廃棄する割合が高く、また、スーパー等でも資源回収を行っており、資源ごみの回収が進まない。		
今後の方向性(取組)	市広報やホームページ、出前講座等を活用し、市民に対し資源ごみの分別徹底を周知するほか、古着・こでん等のイベント回収を実施し、可燃及び不燃ごみの排出抑制を図り、リサイクル率の向上を推進する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	103	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念４ 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI（指標）	3 不法投棄件数				
KPI（指標）の考え方	ここ数年のうち最も少なかった件数を目標値とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
実績値	112 件	115 件	95 件	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（Ｒ５年度）	42.1%
取組の内容と達成状況	監視カメラ設置や注意喚起の看板設置のほか、監視員の巡回等により不法投棄の抑制を図った。		
取組の評価・分析・課題	不法投棄の発見件数は減少したものの、依然としてポイ捨てなどの不法投棄件数は多い状況であり、抑制とまでは至っていない。		
今後の方向性（取組）	市広報やホームページ、出前講座等を活用し、市民に対する不法投棄防止の周知・啓発を行う。また、秋田県と連携して監視カメラを設置するなど、監視体制の強化を進めるほか、行為者が判明した場合には速やかに警察へ報告し、厳正に対応する。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	104	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合				
KPI(指標)の考え方	ここ数年で最も多い参加人数が現状維持となるよう目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%
実績値	27.6%	30.3%	26.8%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	82.0%
取組の内容と達成状況	各自治会・町内会の協力のもと、安全に行うことができた。		
取組の評価・分析・課題	恒例の事業となっており、環境美化活動に対する市民の参加は見られたが、10～30代の若い世代の参加が少ないことや高齢化により目標の達成に至っていない。また、熊の出没もあり、実施を見送る自治会もあった。		
今後の方向性(取組)	これまで同様、関係各位の連携のもと、環境美化に対する理解と意識の高揚を図り、市民の参加率向上を推進する。また、学校教育等を通じた啓発活動を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	105	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念４ 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI（指標）	１ 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合（冷暖房の温度設定の調整）				
KPI（指標）の考え方	市民意識調査において最も意識の高かった節電・節水の水準に達することを目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%
実績値	52.2%	55.0%	66.6%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	109.4%
取組の内容と達成状況	広報に「環境コラム」を掲載し、市民の環境問題に対する意識啓蒙を図ったほか、2030年までに市民や事業者と一体となって排出CO2実質ゼロを達成するよう「ゼロカーボンシティ宣言」を行った。		
取組の評価・分析・課題	環境問題に対する市民の意識啓蒙が図られた。		
今後の方向性（取組）	市、市民、事業者が一体となって取り組む「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、実行性のある取組を実施していく。また、今後も継続してイベントや出前講座等を活用し、脱炭素に向けた行動を日々の生活に取り入れるよう、市民意識の啓蒙を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	106	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念４ 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI（指標）	2 公共施設（市直営施設）におけるCO2排出量				
KPI（指標）の考え方	北秋田市地球温暖化防止実行計画の目標に参照し、年間１.0%削減を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	12,796t-CO2	12,664t-CO2	12,532t-CO2	12,400t-CO2	12,268t-CO2
実績値	10,895t-CO2	11,039t-CO2	11,578t-CO2	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	108.2%
取組の内容と達成状況	公共施設における節電の徹底や冷暖房の適切な温度管理等を図った。		
取組の評価・分析・課題	全庁的に環境問題に対する取り組みが図られた。		
今後の方向性（取組）	今後も各公共施設において節電等に努め、効率的な施設運用に取り組む。また、公用車の運転時には、エコドライブをはじめとする燃費向上についての取り組みを引き続き行う。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	107	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	1 市道の改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する改良済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.8%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%
実績値	78.2%	78.2%	78.3%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	98.6%
取組の内容と達成状況	生活道路の利便性向上を目指し、改良工事を行った。今年度は1路線79.2mの実績となり、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	道路環境の整備を図るため、道路改良は重要であるが、老朽化した橋梁の補修工事、緊急度が高い道路の舗装工事を優先に事業を進めているため、改良工事の進捗に遅れが出ている。		
今後の方向性(取組)	今後も道路環境の改善に向けた取組みを進めていくが、改良路線の計画見直しも必要である。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	108	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	2 市道の舗装率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する舗装済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	72.7%	73.3%	73.8%	74.4%	75.0%
実績値	71.6%	71.7%	71.1%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	96.3%
取組の内容と達成状況	今年度の舗装新設工事は行われず、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	道路環境の整備を図るため、舗装率の向上は重要であるが、老朽化した橋梁の補修工事、緊急度が高い道路の舗装工事を優先に事業を進めているため、舗装工事の進捗に遅れが出ている。		
今後の方向性(取組)	住宅地や地域間を結ぶ道路の舗装は必要であるが、道路の実態を確認し、舗装の必要が無い道路は計画から外すことも考えられる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	109	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※平成25年度に実施した路面性状調査における緊急度が高い道路延長に対する改良率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77.9%	79.8%	81.7%	83.6%	85.5%
実績値	75.1%	75.7%	77.1%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	94.4%
取組の内容と達成状況	ひび割れ等損傷を受けている舗装の補修工事を行った。今年度は3路線639.9mの実績となり、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	多額の経費を要するため国費に頼らざるを得ない事業であり、国費の配分に影響される。		
今後の方向性(取組)	道路環境の改善に向け、今後も計画的に取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	110	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※北秋田市橋梁長寿命化修繕計画に基づき健全度「Ⅲ」:早期措置段階・「Ⅳ」:緊急措置段階・「跨線橋・跨道橋」の早期と判定された橋梁104橋				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	9橋	17橋	24橋	33橋	37橋
実績値	9橋	13橋	16橋	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	66.7%
取組の内容と達成状況	老朽化等により措置が必要となった橋梁の補修工事を行った。今年度は3橋の補修が完了したが、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	目標達成に向け取り組んでいるものの、橋梁補修には多額の経費と時間を要するため、設計から完成まで3~4年をかかるものもあり、実績に表れにくい。		
今後の方向性(取組)	緊急措置が必要なⅣ判定の橋梁については補修が終了している。今後は予防保全の観点も含め早期措置が必要なⅢ判定の橋梁修繕に取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	111	種別	総合計画	担当部署	上下水道課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	1 水洗化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	県及び市の「生活排水処理整備構想」の見込みから目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	87.1%	88.8%	90.4%	92.0%	93.7%
実績値	80.3%	80.7%	81.0%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	89.6%
取組の内容と達成状況	鷹巣処理区北部の面整備と併せて、未整備地区に対して説明会を実施するなど周知啓発に取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	人口減少や単身・高齢世帯の増加もあり、未だ目標の達成は厳しい状況にあるが、未整備地区の着実な整備と未加入世帯への丁寧な周知啓発に努める。		
今後の方向性(取組)	経済的事情もあって下水道接続に踏み切れない方や、今後の面整備工事が概成した後の普及に対しても対策を講じていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	112	種別	総合計画	担当部署	上下水道課経営係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	2 経費回収率				
KPI(指標)の考え方	公共下水道・農業集落排水・特定地域生活排水処理の各事業経営戦略目標値等をもとに設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	90.9%	85.4%	65.1%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	72.3%
取組の内容と達成状況	処理場の施設設備の計画的な修繕や、効率的な施設統合のため、今まで農業集落排水区域であった上杉・下杉地区を、公共下水道処理区へ組替えを行ったが、諸費の高騰による維持管理経費の高上がりのため、経費回収率が大幅に低下した。また、経費回収率の向上を図るべく、令和6年10月からの下水道使用料改定を決定した。		
取組の評価・分析・課題	人口減少傾向にある中、老朽施設、設備等の維持管理に対応しているが、諸費の高騰もあり、污水处理費用に対し、使用料収入が不足する状況が続くなど、健全な事業運営であるといえない。また、事業ごとの経費回収率も偏りがあり公平性に欠ける等、課題も多い。		
今後の方向性(取組)	事業の健全運営のため、令和6年10月からの改正が決定している下水道使用料について、市民への適宜周知を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	113	種別	総合計画	担当部署	上下水道課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市地域循環型社会形成推進地域計画」で掲げる設置予定基数(30基/年)を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,124基	1,154基	1,184基	1,214基	1,244基
実績値	1,090基	1,093基	1,094基	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	92.4%
取組の内容と達成状況	国の制度改正による補助メニューの追加及び補助増額と併せて、市の嵩上げ補助の増額や他事業の工事助成の継続により、成果向上の取り組みを進めた。		
取組の評価・分析・課題	人口減少や高齢世帯の増加もあり、目標の浄化槽設置基数はクリアしていない。浄化槽設置に対しての補助等が手厚いこともあり、更に周知を図り設置基数の増加に努める。		
今後の方向性(取組)	居住地区の衛生環境の改善や公共水域の水質保全のため、下水道整備区域外の浄化槽未設置世帯に対しては、浄化槽の設置の重要性をPRして普及に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	114	種別	総合計画	担当部署	上下水道課水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	1 有収率				
KPI(指標)の考え方	計画的に漏水調査及び管路更新に長期的に取り組む中で、通過点としての目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	71.2%	70.5%	70.5%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	94.0%
取組の内容と達成状況	専門業者への委託に加え、独自の夜間配水量調査にも取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	3ヵ年契約の2年度である令和5年度は、昨年度より漏水調査期間が増したので、再調査や復元漏水、分析、予測などについて、効率的かつ効果的に取り組んだ。		
今後の方向性(取組)	令和6年度は、引き続き複数年契約の利点を活かしながら、再調査や復元漏水、分析、予測などについて、効率的かつ効果的に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	115	種別	総合計画	担当部署	上下水道課水道係
基本戦略/基本理念	基本理念４ 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI（指標）	2 収納率				
KPI（指標）の考え方	類似団体の水準を目標値として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	99.0%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%
実績値	99.5%	99.5%	99.5%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	100.0%
取組の内容と達成状況	令和２年度より徴収業務を民間委託し、同時にコンビニ収納やスマホ収納を拡充しており、引き続き目標値を達成した。		
取組の評価・分析・課題	民間のノウハウを用い納付勧奨を効果的に行うことで自主的な納付につながっている。また、コンビニ納付等の普及により納付機会が増加している。		
今後の方向性（取組）	現在の取り組みを継続し、新たな未納を発生させないよう積極的な納付勧奨に取り組む。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和6年度）第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	116	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI（指標）	1 救命講習を受講したことがある市民の割合				
KPI（指標）の考え方	令和元年中、救急で心肺停止状態に陥った方に対し、その場に居合わせた方による応急手当が施された割合は約56.0%であり、救命講習受講者を継続的に増やすことで応急手当の実施率が高くなり、救命率の向上も期待されることから目標値を60.0%とした				

	（令和3年度）	（令和4年度）	（令和5年度）	（令和6年度）	（令和7年度）
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	53.6%	58.4%	53.9%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（R5年度）	89.8%
取組の内容と達成状況	各感染症が落ち着き、徐々に講習会を開催できるようになってきている。目標達成できるように取り組みたい。		
取組の評価・分析・課題	年2,000人の参加を目標にしているが目標達成には厳しい状況。		
今後の方向性（取組）	救命率を上げるためには市民による一次救命処置が重要であるため、今後も講習会等で市民教育を実施。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	117	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	2 住宅用火災警報器の設置率				
KPI(指標)の考え方	総務省消防庁による住宅用火災警報器設置状況調査(無作為抽出)の設置率を基準に、目標値を95.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績値	89.6%	82.4%	83.8%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	88.2%
取組の内容と達成状況	無線連動型住宅用火災警報器購入補助事業を継続しながら、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の啓蒙活動を継続している。		
取組の評価・分析・課題	ホームページ、街頭及び紙面による広報活動や防災講話などで啓発活動を実施。補助事業を継続しながら設置から10年経過したものは機器交換、未設置には重要性をアピールし設置促進に務める。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携し、高齢者世帯を重点に設置率向上を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	118	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI（指標）	3 救急救命士数				
KPI（指標）の考え方	救急車１台につき救急救命士６人の配置が必要であることから、実動人員３０人を目標値とした。（現保有台数：５台）				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	30 人	30 人	30 人	30 人	30 人
実績値	26 人	27 人	26 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	86.7%
取組の内容と達成状況	新規１名が救急救命士国家試験に合格し、運用開始予定。		
取組の評価・分析・課題	現在の有資格者のうち実働救急救命士は２６名、実動人員３０名を目標に養成していく。		
今後の方向性（取組）	全ての救急車に救急救命士が搭乗するためには３０名の実動人員が必要であり、今後も救急救命士の養成を継続する。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	119	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	4 消防団充足率				
KPI(指標)の考え方	基本消防団員と機能別消防団員の確保に努め、条例定員の90.0%を目標値とした。(定員670人)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	93.8%	90.0%	84.8%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	94.2%
取組の内容と達成状況	広報媒体を活用した取り組みの継続やイベント等を利用し対面での入団促進活動を実施。仕事や家庭の都合による退団もあり、退団者が入団者を上回る状況は続いている。		
取組の評価・分析・課題	団員募集に関する周知は継続できている。せっかく入団しても数年でやめてしまう若い団員もいるので、若い団員がやりがいをもてるようなやり方を検討する必要がある。		
今後の方向性(取組)	消防本部と消防団が協力して、特に若い世代に対し、魅力ややりがい等の発信を図る。訓練大会のあり方や、他市で実施しているような消防団員応援の店事業など、団員にとってプラスとなるような取り組みに努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	120	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI（指標）	5 消防団協力事業所数【累計】				
KPI（指標）の考え方	全消防団員の約７割が被雇用者であることから、事業所の消防団活動に対する理解と協力が必要となっているため、「消防団協力事業所表示制度」を推進し、毎年１事業所以上の登録を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	６事業所	７事業所	８事業所	９事業所	１０事業所
実績値	８事業所	９事業所	９事業所	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	112.5%
取組の内容と達成状況	消防団長、消防長、担当が複数の事業所をまわり、事業所の理解に努めた。		
取組の評価・分析・課題	事業所の理解を得ることができた。新たに関心を持った事業所が複数あるので、事業所の責任者と直接対面し理解を深める活動は効果的だと感じた。実際に協力事業所の増加につながったわけではないので、実数を伸ばせなかったことが課題。		
今後の方向性（取組）	事業所を直接訪問する活動を継続して行う。状況に応じて何度か訪問して理解を深めることも必要と考える。訪問の際、チラシ等を持参し、従業員の理解促進の取り組みも併せて行う。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	121	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI（指標）	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】				
KPI（指標）の考え方	隊員の減少傾向が続いているため、前期計画策定時の隊員数を目標値として設定した				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
実績値	63 人	63 人	61 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	76.3%
取組の内容と達成状況	現役の指導隊員による推薦や勧誘活動により、防犯指導隊では R5 年度において新規隊員 3 名を獲得した。		
取組の評価・分析・課題	若年の新規隊員が増えない中、隊員の高齢化が進んでいる。		
今後の方向性（取組）	市 HP や広報等による募集広告及び勧誘活動等を継続し、隊員増加の促進を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	122	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI（指標）	２ 年間の交通事故件数（人身事故件数）				
KPI（指標）の考え方	直近５年間の平均値をもとに、目標値を設定した。（※北秋田警察署統計による交通事故件数）				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	35 件	35 件	35 件	35 件	35 件
実績値	13 件	24 件	20 件	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（Ｒ５年度）	175.0%
取組の内容と達成状況	交通安全運動期間など街頭指導や交通指導車によるパトロールを行い、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	啓発活動等の効果もあり、事故件数が減少に転じた。		
今後の方向性（取組）	街頭指導およびパトロール活動を継続実施し、市民の意識高揚を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	123	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	3 交通事故死者数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故死者数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	0人	0人	0人	0人	0人
実績値	1人	1人	1人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	E:その他	進捗・達成率(R5年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	交通安全運動期間など街頭指導や交通指導車によるパトロール等を行ったが、1人の死亡事故が発生した。		
取組の評価・分析・課題	目標は達成できなかったものの、最小限の件数となった。今後も市民の意識高揚の拡大を図る。		
今後の方向性(取組)	街頭指導およびパトロール活動を継続実施し、市民の意識高揚を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	124	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI（指標）	4 犯罪件数（刑法犯認知件数）				
KPI（指標）の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。（※北秋田警察署統計による犯罪件数）				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
実績値	57 件	68 件	50 件	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	80.0%
取組の内容と達成状況	防犯パトロールの実施、防犯カメラ設置の推進や通話録音装置の貸出による犯罪の未然防止、抑止に努めた。		
取組の評価・分析・課題	目標は達成できなかったものの、昨年比で件数が大きく減少した。継続してパトロール活動や啓発活動に取り組んでいく。		
今後の方向性（取組）	防犯街頭指導およびパトロール活動を継続実施する。また、防犯カメラ設置数の増加を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	125	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-4 消費者保護の推進
KPI（指標）	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数				
KPI（指標）の考え方	令和元年度の実績値から５年で20.0%の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	174 人	180 人	186 人	192 人	200 人
実績値	146 人	72 人	30 人	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	C：取組に努力を要する	進捗・達成率（R５年度）	16.1%
取組の内容と達成状況	消費者トラブルに関する出前講座を１回行った。申込件数が減少傾向にあり、実績減で目標達成に至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	組織・団体等による研修開催が減少傾向にある。地域密着型（自治会等）の講座開催を推進する。		
今後の方向性（取組）	コロナ禍も収束したため、多様な交流の場等を活用して被害防止等の啓発を図る。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	126	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	1 職員数(各年度4月1日現在)				
KPI(指標)の考え方	令和2年4月1日現在の実職員数(474人)を基準とし、令和2年度末職員数の現状及び将来的な要素を考慮し持続可能な行政サービスの維持継続のために必要と想定される職員数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	464人	464人	464人	468人	468人
実績値	463人	461人	460人	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	99.1%
取組の内容と達成状況	定員管理計画に沿って、退職者を把握しながら採用を行っているが、計画と比較し4人の不足となっている。		
取組の評価・分析・課題	定年退職以外の退職が増加したことにより定員管理計画の職員数(R5 464人)から職員数が減少した。業務量は増加し、民間委託等を伴わない職員数の減少は、行政運営のほか時間外勤務の増加やメンタルヘルス対策にも支障をきたす恐れがある。		
今後の方向性(取組)	北秋田市定員管理計画を下回っている状況から、今後は増加を目指し、適正な職員の確保のための取り組みを進める必要がある。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	127	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	2 実質公債費比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
実績値	9.2%	8.3%	7.8%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	142.3%
取組の内容と達成状況	目標値内であり、地方債発行の制限により効果があったものとする。		
取組の評価・分析・課題	実質公債費比率は7.8%で、前年度と比較して0.6ポイント改善された。当該比率は3ヵ年平均として算出されるが、単年度では、前年度に比べて0.08ポイントの改善(ほぼ横ばい)であった。		
今後の方向性(取組)	事業実施年度の平準化や新規地方債借入額を元金償還額以内とするなど、地方債残高の抑制を図り比率の抑制に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	128	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	3 将来負担比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
実績値	51.7%	42.1%	18.0%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	472.2%
取組の内容と達成状況	目標値内であり、地方債発行の制限により効果があったものとする。		
取組の評価・分析・課題	将来負担比率は18.0%となり、前年度より改善されている。これは将来負担額(地方債現在高および公営企業債等繰入見込額)の減及び充当可能財源の増が要因となっている。		
今後の方向性(取組)	事業実施年度の平準化や新規地方債借入額を元金償還額以内とするなど、地方債残高の抑制を図り比率の抑制に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	129	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI（指標）	4 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率				
KPI（指標）の考え方	平成30年度、令和元年度と98.5%以上を維持していることから、期間中に98.7%の収納率を目標値とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%
実績値	99.0%	99.1%	99.1%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	100.4%
取組の内容と達成状況	債権管理委員会を実施することができなかったが、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	これまでの取り組みの内容が浸透し、目標の達成につながっているものと考えている。		
今後の方向性（取組）	再度、債権監理委員会及び作業部会での取り組みを実施し、収納率の低下を招かないよう対策を図りたい。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	130	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI（指標）	５ 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合				
KPI（指標）の考え方	前期計画の市民意識調査による目標値をほぼ達成していることから、職員のさらなる意識改革、能力向上を目指し期間中に 3.2%の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	60.4%	61.1%	61.7%	62.4%	63.0%
実績値	56.6%	57.8%	59.0%	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	B：概ね順調に推移	進捗・達成率（Ｒ５年度）	95.6%
取組の内容と達成状況	市単独での接遇マナー研修は実施できなかったが、前年度から実績値として1.2%増加している。		
取組の評価・分析・課題	大幅な改善には至っていないが、研修等の積み重ねが重要になることから、今後も職員研修に組み入れていく。		
今後の方向性（取組）	接遇マナー研修のほか、部長会議等でも職員の明るく親切的な対応を呼び掛けている。各部署においても周知徹底を図っていく取り組みが必要。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	131	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	6 市ホームページの年間アクセス数				
KPI(指標)の考え方	人口が減少傾向にあるため、現状と同等程度のアクセス数を得ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	632,000件	632,000件	632,000件	632,000件	632,000件
実績値	787,159件	835,927件	805,487件	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	127.5%
取組の内容と達成状況	市政・観光情報の更新や「ちいきの話題」など最新情報を随時掲載。アクセス数は順調に推移しながら目標値を達成。		
取組の評価・分析・課題	これまで同様の情報発信に加え、新型コロナ情報、ふるさと寄附金、伊勢堂岱遺跡、職員採用、空港キャッシュバックキャンペーン、クマ注意等の関心の高いコンテンツも比較的若い世代やステークホルダーを中心に一定のアクセス数となっていると思われる。		
今後の方向性(取組)	これまで同様の取り組みを継続しつつ、ホームページ来訪者にとって有益な情報となるコンテンツなど、さらなる情報提供の充実に努めていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	132	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績値	92.6%	92.3%	91.7%	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R5年度)	93.6%
取組の内容と達成状況	市民意識調査によると市政情報の取得方法が「広報きたあきた」が最も高い。ホームページやSNS等と組み合わせながら情報提供し概ね順調に推移。		
取組の評価・分析・課題	全戸配布の「広報きたあきた」が高い割合を占めていることで、表紙や紙面内容が一定の評価を得ているものと思われる。デジタル媒体との複合的な情報発信と周知啓発のさらなる工夫も必要と考えられる。		
今後の方向性(取組)	引き続き全世代から支持を得られるように広報活動を行い、「広報きたあきた」の紙面の充実に努めながら、複数の媒体も活用して相乗効果を生み出していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

（令和６年度）第２期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第２次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	133	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念５ みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI（指標）	8 SNS へのフォロワー数（X（旧 twitter）等）				
KPI（指標）の考え方	SNS を活用し情報を得る方が多くなっているため、より多くの方が活用できるよう現状の 10.0%の増加を目標とした				

	（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）
目標値	2,336 件	4,350 件	4,785 件	5,263 件	5,789 件
実績値	3,955 件	4,731 件	5,870 件	—	—

※「KPI（指標）」・「KPI（指標）の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗	A：目標を達成	進捗・達成率（R５年度）	122.7%
取組の内容と達成状況	X、Instagram、Facebook、yahoo! JAPAN を活用して各種市政・観光情報や身近な話題など本市の魅力を継続発信。フォロワー数は順調に推移しながら目標値を達成。		
取組の評価・分析・課題	令和３年度から工夫しながら一貫性のある情報発信をしていることでフォロワー数は増加傾向にあるが、どの自治体でもフォロワー数を獲得し続けることは極めて困難な問題でもある。		
今後の方向性（取組）	フォロワー数の維持・向上は SNS 広報活動の評価と捉え、活動の一環としてインスタフォトコンテストの開催など、本市の魅力と認知度向上のために取り組んでいきたい。		

KPI（指標）/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI（指標）の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備 考	
-----	--

(令和6年度)第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	134	種別	総合計画	担当部署	総合政策課デジタル化推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	9 電子申請届出サービスの利用の拡大				
KPI(指標)の考え方	オンラインでの電子届出サービス等の利用拡大を図り、市役所の各種申請等へ活用することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	30件	45件	55件	60件
実績値	0件	48件	56件	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R5年度)	124.4%
取組の内容と達成状況	電子申請届出サービスの利用拡大については、国のぴったりサービスと秋田県電子申請届出サービスの二つの利用拡大に取り組んでいる。ぴったりサービスは40件で変更なかったが、秋田県電子申請届出サービスが16件と増加している。		
取組の評価・分析・課題	秋田県電子申請届出サービスについては、簡易な届出等にも利用され始め、利用件数の増加に繋がっている。国のぴったりサービスについては、令和4年度までに国の目標としていた登録手続きのみとなっている。		
今後の方向性(取組)	マイナンバーカードの普及に伴った国のぴったりサービスや、ぴったりサービスではできない電子申請の受け皿として秋田県電子申請・届出サービスを活用して、電子申請手続きを増やしていくため、サービスを提供する担当課と協議を進めていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和6年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	135	種別	総合計画	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	10 RPAを導入する業務数				
KPI(指標)の考え方	新たにRPAを導入し、業務の効率化を図ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2業務	4業務	6業務	8業務	10業務
実績値	1業務	1事業	1業務	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R5年度)	16.7%
取組の内容と達成状況	各部署における業務内容(プロセス)と業務量把握のため実施した全庁業務評価に基づき、複数業務にRPA導入の検討を行ったが、技術的問題等で導入には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	全庁業務評価及び他自治体の実績をもとにRPA等を導入を検討する。ただ、同じ業務であっても自治体によって事務手続きの進め方が異なるため、他自治体と同様にRPAを導入することが困難な場合がある。		
今後の方向性(取組)	全庁業務評価及び他自治体の実績、デジタル化推進係実施のDX取組調査を参照し、該当課へヒアリングを行うなどしてRPA等の導入を検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

